

年表

年	号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九四五	昭和二〇	4・1 米軍、沖縄本島に上陸 8・5、6 佐賀空襲 8・6 広島原爆投下 8・9 長崎原爆投下 8・15 ボツダム宣言受諾、戦争終結の詔書 8・17 米軍上陸の流言に婦女子の避難騒ぎ起る 9・15 県婦人会結成 12・9 GHQ、農地改革に関する覚書	3・ 県は、海軍の指令で干拓地に甘藷の栽培を要請(労働力不足だったので、海軍の二個小隊が村内に派遣) 8・5 久富地区、米軍の空襲や機銃掃射を受け、七二軒の家が焼け、一人死亡 10・1 久保田村総人口八〇六九人(世帯数、不詳) 〇 思斉小学校校長室の書棚に保管してあった『思斉学館之記』の額、終戦と共に行方不明となる 〇 終戦後間もなく、杵島炭鉱が極度の食料危機に見舞われた時、久保田村が干拓地で採れた甘藷を贈って感謝される
一九四六	二二	1・1 天皇、人間宣言 1・16 県下一〇四町村に母親学級設置 2・1 第一次農地改革実施 2・5 日本農民組合佐賀県連結成 4・10 新選挙法による第二回総選挙、婦人も初投票	

年表

年	号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九四七	二二	11・3 日本国憲法公布(翌年5・3施行) 1・17 GHQ、町内会・部落会等の廃止を指令 3・31 教育基本法公布・施行 4・1 学校教育法施行、教育の機会均等と男女共学、六・三・三制教育実施 4・5 第一回知事、市町村長公選 5・3 新憲法施行 10・1 国勢調査、県人口九一万七九七人 12・11 川上川上流で、初の人工降雨実験 4・1 新制高校・大学発足 5・2 サマータイム実施(昭二七・四廃止)	4・1 「久保田村立国民学校」は「久保田村立思斉小学校」の旧称に戻る 5・16 佐賀板紙久保田工場一棟焼失 7・ 佐賀板紙に県内初の輸出品許可が下りる
一九四八	二三	5・2 サマータイム実施(昭二七・四廃止) 5・15 NHK佐賀放送局、放送開始 1・30 佐賀市連合婦人会が物価値下げ運動 2・18 佐賀県庁全焼 3・18 佐賀大学正式認可される 4・1 新制佐賀高等学校発足 5・5 初の「こどもの日」 5・8 初の「母の日」(五月第二日曜日) 5・22 天皇陛下ご巡行(県内二三カ所) 8・16 ジュデイス台風(二四水)、県下大洪水。死者八九人、全壊家屋二三四戸、浸	8・15 久保田農業会は解散命令を受け、久保田村農業協同組合が設立 8・17 佐賀板紙久保田工場、操業を再開 11・2 佐賀板紙創立二五周年の記念式典
一九四九	二四		8・16 ジュデイス台風、久保田を直撃。嘉瀬川決壊、久保田大被害

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九五〇	二五	水四万八七八二戸 12・1 お年玉つき年賀はがき初発売 6・25 朝鮮戦争始まる。特需ブーム 9・25 食料配給公団民営切替え 10・1 国勢調査、県人口九四万五〇八二人 12・12 有明海の沖の島灯台完成 12・15 県庁舎落成	5・20 『久保田新聞』（公民館報）創刊 8・25 農協から失火。消防団の非常召集 9・10 草木田（公民館）分館、トップを切って誕生 9 青年団、新発足 10・1 久保田村総人口八三五六八人、世帯数一五〇九
一九五二	二七	2・24 牛津中学校放火事件 3・3 有明海総合開発四県連合協議会発足 4・1 県教育研究所、県林業試験所設置 5・24 戦後初の農協大会 7 農薬ホリドル使用はじまる 8・1 自治省発足 9・10 戦没者遺族年金初交付	9・15 「としよりの日」と定められる 9・16 （例年、三月の婦人会総会の日に行われていた）敬老会を、この日に。婦人会、青年団、公民館の共催で催し、各部落の演芸など盛大になり、おとしより最良の一日 ○ 「久保田干拓」、「大福干拓」（福富町）、一切の権限を国に移譲し、県代行として再出発 4・1 久保田郵便局、大字徳万三〇九一二に移転し、国営となる 9 田島政次選手（北田）、ヘルシンキオリンピックに出場 11・23 ホトトギス同人森永杉洞師を招き、下満明春寺にて下満分館句会開催。 12・14 第二回菱花句会、郷土句会の先輩西川汀石、大島素大両氏の来会を得て、公民館にて代行干拓事業として久保田（二三四町歩）、大福（一五五町歩）両干拓着工
一九五三	二八	2・1 NHK東京テレビ放送局、本放送開始 6・25 西日本地域で大水害（二八水） 7・27 朝鮮戦争休戦協定調印 8・28 民間テレビ放送開始（日本テレビ） 9・1 町村合併促進法公布	2・25 佐賀県営水道事業許可（給水区域Ⅱ久保田 ○人ほど集まる） 1・4 菱花俳壇主催の新春句会、公民館にて 1・27 久保田村柔道愛好会発足（久保田宿の南里五段、快方の光岡三段の指導の下、青年三 配達事務を開始 9・15 「としよりの日」と定められる 9・16 （例年、三月の婦人会総会の日に行われていた）敬老会を、この日に。婦人会、青年団、公民館の共催で催し、各部落の演芸など盛大になり、おとしより最良の一日 ○ 「久保田干拓」、「大福干拓」（福富町）、一切の権限を国に移譲し、県代行として再出発 4・1 久保田郵便局、大字徳万三〇九一二に移転し、国営となる 9 田島政次選手（北田）、ヘルシンキオリンピックに出場 11・23 ホトトギス同人森永杉洞師を招き、下満明春寺にて下満分館句会開催。 12・14 第二回菱花句会、郷土句会の先輩西川汀石、大島素大両氏の来会を得て、公民館にて代行干拓事業として久保田（二三四町歩）、大福（一五五町歩）両干拓着工

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九五二	二六	2・16 山代町人形石山地滑り 3・1 米麦を除く雑穀類統制撤廃 3・15 佐賀師範学校最後の卒業式 4・1 県文化館設置（中央公民館廃止） 5・1 九州電力株式会社発足 5・19 北山ダム起工式 6・20 第一次追放解除 9・8 対日平和条約、日米安全保障条約調印 9・15 初の「敬老の日」、各地で敬老行事 10・1 商工中金佐賀出張所開設 11・3 第一回県教育文化功労者表彰 11・10 国民金融公庫佐賀出張所開所 11・23 第一回県展開催	5・20 『久保田新聞』（公民館報）創刊 8・25 農協から失火。消防団の非常召集 9・10 草木田（公民館）分館、トップを切って誕生 9 青年団、新発足 10・1 久保田村総人口八三五六八人、世帯数一五〇九 10・5 一家七人殺傷事件発生 1・8 強盗殺人事件に死刑判決 3・4 北田の田島政次選手（走り中跳び）、ニューデリーの第一回アジア競技大会に出場 4・30 古賀了、県会議員に当選 5・15 久保田村、四月三十日執行の知事選並びに県会議員選挙で投票成績優秀につき、佐賀地方事務所長鷺崎功一郎より表彰状を受け、金一封を贈られる 5 ミルクのみの学校給食開始 6・15 村公民館の広報紙「久保田新聞」、第一回広報紙コンクールにおいて佳作の賞を知事鍋島直紹より受く 8・21 久保田久富郵便局、電話交換事務及び電報

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九五六	三三	<p>10・1 国勢調査、県人口九七万三七四九人 (過去最多)</p> <p>10・25 県文化財保護条例制定</p> <p>1・1 原子力委員会発足</p> <p>3・7 佐賀市で初めてテレビ受像に成功</p> <p>4・1 農協共済連合会発足</p> <p>5・15 唐津線にディーゼルカー登場</p> <p>5・24 売春防止法公布</p> <p>6・1 玄海国定公園指定</p> <p>6・22 県財政再建計画書公表</p> <p>8・1 真崎甚三郎没(80歳)</p> <p>10・1 新教育委員会発足</p> <p>11・8 第一次南極観測調査船「宗谷」出発</p> <p>11・22 杵島炭鉱の大鶴鉱閉山</p> <p>11・初「厚生白書」発表</p> <p>12・8 国連総会、日本の加盟承認</p> <p>12・23 石橋内閣成立</p> <p>○この年水保病問題おこる</p> <p>”もはや戦後でない”流行</p>	<p>9 田島政次選手(北田)、メルボルンオリンピックに出場</p> <p>10・1 久保田村総人口八五九六人、世帯数一五五七</p> <p>11・11 裏作整地競技会(馬耕の部、耕耘機の部別々に)タカジョウ道をはさんで行われる</p> <p>11・15 排水樋門久富念仏井樋改修工事着工(村管理)</p> <p>4・1 県営水道の通水式(牛津、久保田、芦刈三町村二五〇〇戸に給水開始)</p> <p>4・11 佐賀板紙久保田工場で基礎工事のヤグラ倒壊、二人死亡</p> <p>4・30 久富の念仏樋管改修工事完成し、竣工式挙行</p> <p>4 村傷痍軍人会(会員一三名)、忠魂碑建設資金として五〇〇〇円を贈る</p> <p>5・3 郡体で優勝</p> <p>5 小・中学校、完全給食となる</p> <p>6・3 忠魂碑完成、除幕式挙行</p> <p>8・17 台風九号で大福搦と昭和搦が被害、入植農家潮水につかり稲全滅</p> <p>9・15 としよりの日に村婦人会へ県福祉協議会長(鍋島知事)より表彰状</p> <p>(戦後、婦人会が発足して以来一〇年、敬老会を催し、村民の敬老心を高揚したこと功をたたえて)</p>

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九五五	三〇	<p>1・27 重要無形文化財の指定始まる</p> <p>7・10 佐賀銀行設立(佐賀興業銀行と佐賀中央銀行が合併)</p> <p>9・1 新農業委員会発足</p> <p>12・15 佐賀商工会館完工</p> <p>11・1 県農協中央会認可</p> <p>9・18 乱闘県議会</p> <p>8 県内各地ホリドール中毒発生</p> <p>6・28 脊振山県立公園に指定</p> <p>6・7 県議会、人員整理案をめぐり混乱</p> <p>6・3 学校給食法公布・施行</p> <p>5・1 多久市発足</p> <p>4・1 町村合併により鳥栖・伊万里・武雄・鹿島の四市誕生</p> <p>12・31 NHK紅白歌合戦はじまる</p> <p>11・8 佐賀市電話、自動式となる</p> <p>10・22 県議会発足七〇年記念式</p> <p>9・30 有明ノリ養殖、二〇漁協が開始</p>	<p>町、牛津町、芦刈町)</p> <p>11・12 排水樋門三丁樋改修工事着工</p> <p>11・16 沖祇大明神社、嘉瀬川改修に伴い、大立野に移転し、完成遷座祭が施行</p> <p>12・1 久保田村上水道設置工事、県営として施工</p> <p>2・7 下新ヶ江分館発足</p> <p>2・23 婦人学級開講式</p> <p>4・1 村傷痍軍人会発足</p> <p>6・15 排水樋門三丁樋改修工事完成</p> <p>7・26 水難救助講習会。講師は金丸の塚原竜王先生。男女約三〇名聴講</p> <p>8 徳万東の深川呉服店前に警察派出所が完成(総工費七〇万円。一二坪)</p> <p>○結婚簡素化運動、部落推進委員決まる</p> <p>○徳万東出身の原田政雄製造の「筑前名物千鳥饅頭」が、京都市で開かれた全国菓子協会主催第一三回全国菓子大博覧会で、五万三〇〇〇点の出品中、最優秀賞に入賞</p> <p>1・10 村議会、議員定数減少条例を可決。一六名</p> <p>3・17 思斉中学校の落成式挙行</p> <p>10・1 県営水道三町村(牛津、久保田、芦刈)協議会設立</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九五九	三四	<p>3・9 海底「関門国道トンネル」開通</p> <p>4・1 売春防止法全面施行</p> <p>7・30 北山ダム、県立自然公園に指定</p> <p>8・1 NBCラジオ佐賀局開局</p> <p>9・3 嘉瀬川土地改良区連合創立総会</p> <p>9・15 総評・日教組勤務評定反対全国統一行動</p> <p>9・28 全日本労働組合佐賀地方会議結成</p> <p>10・1 佐賀市で騒音防止取締りはじまる</p> <p>11・4 栗林義信国際音楽コンクール金賞受賞</p> <p>12・1 一万円札発行</p> <p>12・2 佐賀新聞主催「ミス農村」選彰祭開催</p> <p>12・25 女子刑余者「清風寮」完成</p> <p>12・27 県立自然公園条例施行</p> <p>○この年ミッチーブーム、フラフープ流行</p> <p>1・10 NHK教育テレビ開局</p> <p>1・16 五年ぶりの大雪でバス全線ストップ、佐賀市で二・三の積雪、三九校休校</p> <p>1・30 佐賀県農民政治連盟結成</p>	<p>(仏式)</p> <p>5・14 村農協落成式</p> <p>5・15 県営水道落成式。総工費一億七五〇〇万円</p> <p>8 防犯協会設立</p> <p>8・3 樋管工事完成</p> <p>9・10 佐賀市郡農協の事務競技会で、珠算競技と実務競技の部で、本村農協優勝</p> <p>9・29 古賀了農協組合長、南米移住の現地調査で到着</p> <p>10・1 牛津、久保田、芦刈の三町村で西佐賀水道組合を設立(経営、管理、利用)。同時に、佐賀県営水道事業廃止</p> <p>10・24 思斉小子供銀行、大蔵大臣賞並びに日本銀行総裁賞を受く</p> <p>10・24 思斉小、九州地区図書館コンクールで九州地区学校図書館協議会賞と西日本新聞社賞を受く</p> <p>11・29 古賀了農協組合長の南米移民現地調査報告会が開かれる</p> <p>3・16 村議会、村公民館条例を改正。又、村議会事務局設置条例を制定</p> <p>4・30 村長及び村議会議員の選挙</p> <p>6・7 思斉中柔道部、県柔道協会主催の第一回中</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九五七	三二	<p>2・25 岸内閣成立</p> <p>2・14 佐教組三・三・四のスト実施</p> <p>3・15 鹿島市で佐賀産業観光博覧会開幕</p> <p>3・30 北山ダム完工式(貯水量、一三三二五万m³)</p> <p>4・1 新生活運動の一環として生活学校発足</p> <p>8・2 杵島炭鉱無期限スト突入</p> <p>8・23 石川達三「人間の壁」朝日新聞に連載はじまる</p> <p>9・1 佐賀測候所、佐賀地方気象台に昇格</p> <p>10・31 協和館佐賀城天守閣跡に移転</p> <p>12・11 一〇〇円硬貨発行</p> <p>12・3 唐津、佐賀、福岡間の電話自動即時通話化</p>	<p>9 泥土揚げの奨励。共進会が審査、一等は下新ヶ江。賞金一万二〇〇〇円</p> <p>12・8 農協、役場火災。大雲寺全焼</p> <p>2・11 村消防団、日本消防協会より成績優秀消防団として表彰さる(表彰式は三月七日の消防記念日に、佐賀市商工会館で。竿頭綬が贈られる)</p> <p>5・25 昭和三十一年度納税の完納賞(表彰状と賞金)が福所、上恒安、金丸、草木田、徳久に贈られる</p> <p>6・28 農繁期共同炊事場が初めて試みらる</p> <p>9・30 役場新庁舎落成を記念して、東京村人会より精工舎の時計が届く</p> <p>10・26 思斉小学校給食室全焼</p> <p>10・28 役場新庁舎落成。</p> <p>11・10 青年団コーラス部、県青年祭コーラスの部で優勝し、全国青年祭(東京)に県代表として出場</p> <p>3・13 県営上水道工事完成</p> <p>3・25 村社会福祉協議会誕生</p> <p>3 代行干拓久保田地区完了</p> <p>4・24 戦後十二年の歳月流れて三三五柱の慰霊祭</p>
一九五八	三三	<p>1・9 多久炭鉱閉山</p> <p>1・23 「唐津山笠」県重要民族文化財に指定</p> <p>2・22 NHK熊本テレビ開局(県内受像鮮明)</p>	<p>3・13 県営上水道工事完成</p> <p>3・25 村社会福祉協議会誕生</p> <p>3 代行干拓久保田地区完了</p> <p>4・24 戦後十二年の歳月流れて三三五柱の慰霊祭</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九六三	三八	<p>2.5 農業信用基金協会創立</p> <p>4.1 北山ダムに国民宿舍設置</p> <p>7.7 県西部に集中豪雨(死者六四人)、太良町大浦に山津波</p> <p>9.25 県立病院にガンセンター設置</p> <p>10.19 県工業試験場落成</p> <p>11.23 岸川ダム完工式</p> <p>○この年稲豊作、史上最高二四万ト、福富レンコン東京に初出荷</p> <p>1.8 佐賀地方気象台開設以来の豪雪</p> <p>1.25 県立図書館新築落成</p> <p>2.28 県立図書館自動車文庫「ともしび号」初巡回</p> <p>3.11 県体育館落成式</p> <p>6.1 県文学賞創設</p> <p>6.15 第一回高校総合体育大会開催</p> <p>8.3 国民年金相談所開設</p> <p>9.9 九州高速道路建設期成会発会</p> <p>9.12 有明海のムツゴロウ、アメリカに渡る</p> <p>11.1 新一〇〇〇円札発行</p> <p>○この年、「三チャン農業」「カギっ子」流行語となる</p>	<p>コンクールで優秀校として受賞</p> <p>3.3 小学校、学校図書館・学校給食・子ども信用組合の各表彰祝賀会開催</p> <p>3.12 搦西で農家二戸全焼</p> <p>7.1 久保田干拓入植増反</p> <p>10.1 芦刈村大字下古賀字大曲の区域を本村に編入</p> <p>10.5 得仏橋の渡り初め式(森永組施工)</p> <p>12.1 町東分館(香楠荘)が落成</p> <p>2. 嘉瀬橋改修(鉄骨造り)竣工。現在に至る(森永組施工)</p> <p>3.25 中学校校舎改築の落成式</p> <p>3.31 久保田干拓(県代行)完了(着工は昭和二十七年)</p> <p>4.1 西佐賀水道組合、福富へ分水開始(分水量、一日に五二五㎥)</p> <p>6.2 村内でマイクロボスと定期バスが正面衝突、一二人負傷</p> <p>7.30 村青少年問題協議会が誕生</p> <p>12.18 大立野(宇治端の駐在所)から移転して横江駐在所完成し、落成式。(台風による舎屋破損と嘉瀬川改修に伴う敷地買収のため移転)</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九六二	三七	<p>1.19 県内各地大雪交通事故多発</p>	<p>1.27 小学校、西日本新聞より全九州学校図書館</p>
一九六一	三六	<p>10.17 第一回県芸術祭始まる</p> <p>4.19.22 天皇・皇后両陛下県下巡回</p> <p>4.27 経済企画庁、「物価白書」発表</p> <p>7.14 佐賀市高木瀬町に工場団地誕生</p> <p>9.7 日本消費者協会発足</p> <p>11.23 岸川ダム着工</p> <p>12.1 県都市公園「城内公園」設置</p>	<p>4.20 昭和天皇両陛下を久保田駅で出迎え(唐津へ行かれるときの三〇秒)</p> <p>4.21 同じく出迎え(唐津から戻り白石干拓に行かれるとき六分間停車)</p> <p>5.20 小・中学校の校舎改築落成式(各校一〇教室、工費両校で二〇〇〇万円)</p> <p>8. 佐賀板紙、中華人民共和国に黄板紙を輸出</p>
一九六〇	三五	<p>3.28 「有明海魚撈習俗」重要民俗資料に指定</p> <p>4.10 皇太子成婚、テレビ各社総力で中継。テレビの売れ行き急増</p> <p>11.3 北山ダム管理権、農林省から嘉瀬川土地改良区連合会に移管</p> <p>2.28 佐賀〜神埼・久保田間の電話即時通話化</p> <p>3.12 県文化財専門委員会、浮立五つを無形文化財に指定</p> <p>6.16 嘉瀬川分水せき完成(川上頭首工)、送水開始</p> <p>10.1 国勢調査、県人口九四万二八七四人</p>	<p>8.1 西佐賀水道組合、三日月村へ分水開始(一日最大五一五㎥)</p> <p>9.17 台風一四号のため千拓の堤塘すたずたに切れ、水田泥に埋まる</p> <p>9.23 久保田村商工会設立許可</p> <p>9.28 久保田村商工会(登記を完了)発足</p> <p>10.1 久保田村総人口八二一九人、世帯数一五八三</p> <p>11.20 第二九回総選挙で古賀了氏(農政連)が初当選</p> <p>11.24 耕転機競技会(四寸以上の深耕)</p> <p>12. 徳万宿の駐在所、徳万東に移転</p> <p>○ 南部横断道路改修工事に着工</p>

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九六六	四一	<p>10.1 国勢調査、県人口八七万一八八五人</p> <p>12.24 佐賀県、米作り日本一となる。一〇<small>ア五一二キ</small></p> <p>1.7 体力づくり歩け歩け運動始まる</p> <p>3.31 総人口一億を突破（法務省住民登録集計）</p> <p>10.28 唐津城落成</p> <p>○政府、初の「交通事故白書」を出す。「交通戦争」の語生まる</p>	<p>11.1 小・中学校合同の給食開始。県下に誇る完全な機械設備</p> <p>4.1 西佐賀水道組合、「西佐賀水道企業団」と改称（公営企業法の改正による）</p>
一九六七	四二	<p>2.10 第一回県農業後継者実績発表大会</p> <p>2.11 第一回「建国記念の日」</p> <p>3.20 県内初の特別老人ホーム「ロザリオの園」落成</p> <p>4.1 県立養護学校開校</p> <p>5.2 県内に悪書追放の白いポスト設置</p> <p>7.1 県交通事故相談所設置</p> <p>7.31 佐賀大学紛争に警官隊出動</p> <p>8.10 佐賀県青年の家落成</p> <p>9.6 大隈記念館展示はじまる</p> <p>9. 住之江港の機帆船、石炭合理化のあおりで姿消す</p> <p>10.27 馬渡島へ海底ケーブル電灯灯る</p> <p>11.4 佐賀女子短大開学式</p>	<p>3.17 西佐賀水道企業団、第一回拡張事業（給水人口二万三三〇〇人は従来どおり、一日最大給水量が四三〇〇m³へ）</p> <p>4.1 町制施行により久保田町誕生。小学校講堂で町制施行祝賀式典挙行</p> <p>・中尾都昭佐賀新聞社長に感謝状授与</p> <p>・町章応募佳作入選者四人に記念品授与</p> <p>・各分野功労者一〇名に感謝状授与</p> <p>町章決定（応募作品の傾向を考慮に入れて図案化し、佐賀市在住の田中宗一画伯の指導鑑修を得て決定）</p> <p>4.18 従来の「東京久保田村人会」を改めて「東京久保田町の会」が誕生。（銀座の佐賀クラブで、一五名参加）</p>

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九六四	三九	<p>3.1 佐賀〜東京間の電話 自動即時通話化</p> <p>8.11 米づくり「新佐賀段階」実践本部を設置</p> <p>9.28 県漁業共済組合設立</p> <p>10.1 東海道新幹線、営業開始</p> <p>10.1 NHK、カラー放送開始</p> <p>10.8 県屋外広告条例公布</p> <p>10.10.24 第一八回オリンピック東京大会開催</p> <p>11.3 第一回県中学剣道大会開催</p> <p>11.5 県理科教育センター落成</p> <p>11.11 高木瀬工業団地落成</p> <p>12.1 昭和バスワンマンカー運行</p>	<p>○ 水田除草、除草薬使用（P.C.P.）に替る</p> <p>2.13 大立野東分館、落成</p> <p>3.3 芦刈村との境界決定</p> <p>3.14 中学校で、県外就職者壮行会</p> <p>4. 小・中学校で「母と子の二〇分間読書運動」が盛んとなる（県立図書館の自動車文庫が前年二月から、県内をくまなく走る。）</p> <p>4.13 公明選挙研修会。講師は高添門司氏</p> <p>5.10 徳万頭首工が完成（昭和38・6・30の豪雨で流出していた。上水道、灌漑用水共に確保。総工費一七二万六〇〇〇円）</p> <p>9.12 村交通安全協会結成</p> <p>9.15 空路長崎に着いたオリンピック聖火、郷土を走って佐賀へ、そして東京へ（境橋〜徳万の正走者、搦西の陣内敏美さん）</p> <p>10.1 久保田駅に快速列車が停まるようになる</p> <p>12.13 久富でノリ乾燥場など三棟全焼</p> <p>4.5 久保田村商工会に青年部創設</p> <p>7.3 鍋島駅〜久保田駅間複線化の試運転</p> <p>7.27 久保田村子供クラブ連絡会結成。県連絡協議会に加盟</p> <p>10.1 久保田村総人口七六九八八、世帯数二六一一</p>
一九六五	四〇	<p>1.1 国民健康保健世帯員七割給付開始</p> <p>3.25.26 農山村漁家婦人会 季節保育所問題などについて討議</p> <p>5.13 県鳥に「かささぎ」決まる</p> <p>6.1 婦人補導員（ママポリス）を新設</p>	

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九六八	四三	11.25 内閣改造保利茂建設大臣、鍋島直紹 科学技術長官となる 12.18 福岡高裁佐教組事件で全員無罪判決 1.22 三菱古賀山鉾閉山 2.14、15 豪雪、交通マヒ、停電、山間地 各所で孤立集落五〇〇戸でる 3.8 国鉄呼子線起工式 3.26 NHK佐賀放送会館完成 3.28 県運転免許総合試験場落成 4.30 天災融資法に基づく特別被害地の指 定(白くされ病のノリ被害漁家対策) 5.1 第一回県商工まつり 5.23 県労働者福祉協議会結成 6.17 2月豪雪による天災融資法の特別被 害地域として一三市町村を指定 8.2 甲子園県代表に佐工高、春夏連続出 場決定 8.22 県ノリ養殖安定推進協議会(養殖の	4.28 町議会議員選挙 5. 古賀了新町長就任 9.22 久保田青少年クラブ(若者の農業近代化と 仲間づくり)発足 9. 幹線水路圃場整備事業説明会を開催 10. 町史編さん事業始まる 11.24 思斉中学校創立二〇周年式典と文化祭 2.25 千拓子とも遊園地落成し開園式 4.26 公民館落成式(総工費二二〇万円、中島 建設) 4. 小・中学校に思斉庭園の寄贈(大和町在住 の山荘十河園森泰造氏による) ○ 公民館使用料条例と管理規則決まる 7.16 道路補修用の新鋭機ロードメンテナを購 入。公民館前広場で入魂式。直ちに補修作 業に出動 8.27 県の市町村交通災害協同組合に加入 9.17 棚西公民館が誕生 9.21 棚東公民館が誕生 9.23 永里公民館が誕生 9.27 青少年健全育成をめざす毎月第一日曜日の 「家庭の日」の実践研究討議(住民課と公
一九六九	四四	過密対策、採苗等規制問題) 9.10 県、虹の松原ユースホステル設置 10.1 県市町村交通災害共済制度発足 10.26 国営有明干拓三五年ぶり完工 11.6 大隈重信宅の復元落成記念式 12.11 県旗制定 3.9 小川島、加唐島電話即時通話とな る 3.15 NHK佐賀テレビ局放送開始 3.20 佐賀博覧会開催 4.1 サガテレビ開局 5.15 杵島炭鉱閉山 4.24 県婦連「健康を守る佐賀県婦人の会」 結成 4. 電話による天気予報サービス発足 9.2 建設省嘉瀬川を一級河川に指定 9.24 長崎線鳥栖〜肥前山口間、複線化完成 10.1 交通点数制スタート 2.7 県下初の米生産調整推進協議会が開	民館の共催、三分科会で) 9. ゴミの共同処理収集始まる 10.12 思斉小学校、交通安全宣言を行う 10.16 思斉中学校、交通安全宣言を行う 10.19 役場全職員が交通安全式を行う 11.1 町内二農協が合併し、「久保田町農業協同 組合」誕生 11.26 PTA創立二〇周年記念県PTA研究大会 で、思斉中PTAが表彰を受く 2.13 中副公民館落成式 3. 思斉中学校体育館落成 6. 集中豪雨による福所江決壊を防ぐ人と水と の四日間の戦い 7.9 久保田町禅道会誕生、第一回の座禅会が小 路の妙鎮寺で行わる 8.16 町消防団が初めて購入した自動車ポンプが 恒例の夏季訓練で初見え 8. 思斉中の中庭(パレーコート地)の土地一 反五畝(一五〇〇㎡)は久留米市居住の永 瀬今朝六氏の所有だったのを、同氏が同校 に寄付(10.18日逝去) 9.18 町公民館で書道研究会発足 4.1 町商工会、事務所を町庁舎からプレハブ二
一九七〇	四五		

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九六八	四三	11.25 内閣改造保利茂建設大臣、鍋島直紹 科学技術長官となる 12.18 福岡高裁佐教組事件で全員無罪判決 1.22 三菱古賀山鉾閉山 2.14、15 豪雪、交通マヒ、停電、山間地 各所で孤立集落五〇〇戸でる 3.8 国鉄呼子線起工式 3.26 NHK佐賀放送会館完成 3.28 県運転免許総合試験場落成 4.30 天災融資法に基づく特別被害地の指 定(白くされ病のノリ被害漁家対策) 5.1 第一回県商工まつり 5.23 県労働者福祉協議会結成 6.17 2月豪雪による天災融資法の特別被 害地域として一三市町村を指定 8.2 甲子園県代表に佐工高、春夏連続出 場決定 8.22 県ノリ養殖安定推進協議会(養殖の	4.28 町議会議員選挙 5. 古賀了新町長就任 9.22 久保田青少年クラブ(若者の農業近代化と 仲間づくり)発足 9. 幹線水路圃場整備事業説明会を開催 10. 町史編さん事業始まる 11.24 思斉中学校創立二〇周年式典と文化祭 2.25 千拓子とも遊園地落成し開園式 4.26 公民館落成式(総工費二二〇万円、中島 建設) 4. 小・中学校に思斉庭園の寄贈(大和町在住 の山荘十河園森泰造氏による) ○ 公民館使用料条例と管理規則決まる 7.16 道路補修用の新鋭機ロードメンテナを購 入。公民館前広場で入魂式。直ちに補修作 業に出動 8.27 県の市町村交通災害協同組合に加入 9.17 棚西公民館が誕生 9.21 棚東公民館が誕生 9.23 永里公民館が誕生 9.27 青少年健全育成をめざす毎月第一日曜日の 「家庭の日」の実践研究討議(住民課と公
一九六九	四四	過密対策、採苗等規制問題) 9.10 県、虹の松原ユースホステル設置 10.1 県市町村交通災害共済制度発足 10.26 国営有明干拓三五年ぶり完工 11.6 大隈重信宅の復元落成記念式 12.11 県旗制定 3.9 小川島、加唐島電話即時通話とな る 3.15 NHK佐賀テレビ局放送開始 3.20 佐賀博覧会開催 4.1 サガテレビ開局 5.15 杵島炭鉱閉山 4.24 県婦連「健康を守る佐賀県婦人の会」 結成 4. 電話による天気予報サービス発足 9.2 建設省嘉瀬川を一級河川に指定 9.24 長崎線鳥栖〜肥前山口間、複線化完成 10.1 交通点数制スタート 2.7 県下初の米生産調整推進協議会が開	民館の共催、三分科会で) 9. ゴミの共同処理収集始まる 10.12 思斉小学校、交通安全宣言を行う 10.16 思斉中学校、交通安全宣言を行う 10.19 役場全職員が交通安全式を行う 11.1 町内二農協が合併し、「久保田町農業協同 組合」誕生 11.26 PTA創立二〇周年記念県PTA研究大会 で、思斉中PTAが表彰を受く 2.13 中副公民館落成式 3. 思斉中学校体育館落成 6. 集中豪雨による福所江決壊を防ぐ人と水と の四日間の戦い 7.9 久保田町禅道会誕生、第一回の座禅会が小 路の妙鎮寺で行わる 8.16 町消防団が初めて購入した自動車ポンプが 恒例の夏季訓練で初見え 8. 思斉中の中庭(パレーコート地)の土地一 反五畝(一五〇〇㎡)は久留米市居住の永 瀬今朝六氏の所有だったのを、同氏が同校 に寄付(10.18日逝去) 9.18 町公民館で書道研究会発足 4.1 町商工会、事務所を町庁舎からプレハブ二
一九七〇	四五		

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九七三	四八	<p>1.19 第一回九州青年の船佐賀県団出発式</p>	<p>2.22 思斉中バレー部、昭和四十七年度佐賀県思念通話</p>
一九七二	四七	<p>7.1 環境庁発足</p> <p>8. 県、国立医大誘致にのりだす</p> <p>10.1 「いのちの電話」開設</p> <p>12.25 佐賀南部バイパス全面開通</p> <p>1. 七〇歳以上の老人医療費を無料に</p> <p>1.7 日米共同声明、沖縄の核抜き本土並み返還決定</p> <p>3.1.4 大雪、農作物中心に被害</p> <p>4. 学校周辺通学道路にスクールゾーン誕生</p> <p>4.10 県遺族会の「平和会館」落成</p> <p>5.15 沖縄、日本復帰</p> <p>5.26 政府、初の「環境白書」発表</p> <p>7.1 鳥栖市に佐賀競馬場オーブウン</p> <p>7.25 五一年国体開催佐賀県に決定</p> <p>8.15 県7月豪雨で激しん法指定</p> <p>10.3 第一回老人スポーツ大会</p> <p>10.25 県文化会議県芸術文化賞を設ける</p> <p>11.29 新明治鉱業の明治佐賀、西杵両炭鉱閉山（県内から炭鉱、姿を消す）</p>	<p>9. 町敬老年金制度の新設</p> <p>10. 『久保田町史』完成</p> <p>11.24 思斉中、全日本中学校英語弁論大会への出場、連続四年目</p> <p>12.23 大字新田で酒倉など三棟全焼</p> <p>1.21 町カントリーエレベーター建設推進協議会が発足</p> <p>1.21 米生産総合改善パイロット事業久保田町推進協議会が発足</p> <p>5.25 中尾都昭氏（郷土出身、佐賀新聞社社長）、勲三等瑞宝章の叙勲記念に、母校思斉小・中学校に図書費として一〇万円ずつ寄贈</p> <p>6.6 町農業振興開発協議会が発足</p> <p>6.14 思斉中学校、相撲場土俵開き（総工費四二万円）</p> <p>6. 町内にスクール・ゾーン設定</p> <p>8.15 思斉中学校相撲部、東京蔵前国技館での全国大会に出場</p> <p>12.10 佐賀板紙、ノリの立直しのため操業を短縮</p> <p>12.13 久保田局、午後二時を期して電話自動化される。古賀町長が東京の三池郵政大臣と記念通話</p>

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九七二	四六	<p>1.1 玄海原子力発電所設置</p> <p>4.1 嘉瀬川、一級水系に指定される</p> <p>5.6 佐賀空港反対期成会総決起大会</p> <p>6.22 県農協会館落成式</p> <p>10.1 国勢調査、県人口八三万八四六八八に指定</p> <p>10.14 県立博物館落成式</p> <p>10.15 県過疎地振興協議会発足</p> <p>10.20 佐賀ミカン初の専用列車走る</p> <p>11.7 県交通巡視員設置</p> <p>11.25 三島由紀夫割腹自殺</p> <p>12.11 初の県茶業振興会</p> <p>○この年、消費者運動、公害反対運動高まる</p>	<p>4.22 農業機械化センター、野菜集荷所、トラックター格納庫が落成（農業構造改善事業の一環として）。野菜集荷所広場で落成式</p> <p>4. 圃場整備事業着工</p> <p>4. 第一回子どもクラブ研修会</p> <p>5.7 久保田町教育正常化懇談会の発会式。町公民館にて。規約採択</p> <p>5.26 国道四四号線の久保田橋開通式（福富の「宇治端の渡し場」、四〇〇年の歴史を閉じる）</p> <p>7.17 人工呼吸法の講習会（町公民館主催）</p> <p>8.18 高校生父兄連絡会が誕生</p> <p>9.6 「家庭の日」五周年記念親子スポーツの集い（県青少年育成県民会議提唱）に六部落参加（県内、七六〇人参加）</p> <p>9.7 思斉中で城南中と生徒会交歓会</p> <p>10.1 久保田町総人口七二五七人、世帯数一六〇七</p> <p>10.20 佐賀板紙の公害防止施設落成</p> <p>3.31 西佐賀水道企業団、第二回拡張事業。一日最大給水量を九三二〇m³に</p> <p>5. 古賀町長無投票で再選</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九七四	四九	<p>1.25 県南部地区地盤対策期成会発足</p> <p>2.8 第一回ガン撲滅大会</p> <p>2.11 「佐賀県民の歌」制定</p> <p>3.10 小野田少尉ルパンゲ島で発見される</p> <p>4.23 農業危機突破県大会</p> <p>4.24 国道三四号線北部バイパス全面開通</p> <p>6.21 玄海原電一号機用燃料搬入機動隊ピケ排除</p> <p>6.22 第一回佐賀新聞早起きソフトボール大会</p> <p>8.1 全国高校総体県総合運動場などで開催</p> <p>8.24 県農協労働組合連合会結成</p> <p>10.15 佐賀県青年会館完成</p> <p>11.27 名村造船伊万里工場第一船進水</p> <p>12.2 県道路公社設立</p> <p>12.25 佐賀国体実行委員会呼びかけの昭和五十一年若楠国体標準蹴立募集、この日締切る</p>	<p>11.26 県青年の家にて一泊二日</p> <p>久保田駅で貨車六両脱線</p> <p>12. 久保田駅、業務委託駅となる</p> <p>3.17 久保田郵便局、郵便の日曜日配達を廃止</p> <p>3.22 中尾都昭（佐賀新聞社長、郷土出身、佐賀市在住）に名誉町民の称号を贈ることを議会議決</p> <p>4.1 し尿汲取料金改訂（現行の三六〇当たり六五円を八〇円に）</p> <p>4. 天山斎場へ霊柩車使用の場合、一体当たり三七〇〇円を公費負担となる</p> <p>4. 香椎神社八百年祭</p> <p>5.10 中尾都昭佐賀新聞社長に「名誉町民の章（タテ）を贈る顕彰式</p> <p>5.26 若葉会（徳万東西の若妻の会）で不用品即売会（町西公民館で）、盛況で好評</p> <p>5.31 町青年団で交通安全宣言式</p> <p>6.18 思斉小学校で初めてのプール開き</p> <p>8.2 町公民館で県新生活運動協会指定の久保田町生活学校を開校</p> <p>9.19 佐賀郡南部消防署、発足</p> <p>11.12 農村総合整備計画のモデル農村に指定される（着工は五十年十月）</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
		<p>1.27 佐賀文化連盟第一回総会</p> <p>2.1 県土地開発公社設立</p> <p>3.30 消費者物価指数、前年同月比九・〇％高騰（戦後二番目）</p> <p>4.1 県立大和養護学校設置</p> <p>4.27 交通ゼネスト県内交通マヒ</p> <p>5.1 県森林公園開園</p> <p>5.22 県立佐賀コロー完成</p> <p>6.5 世界環境デー、県内ではノーカーデー</p> <p>6.6 有明海の魚介類の水銀分析結果安全宣言</p> <p>7.18 「佐賀県民の歌」歌詞決定</p> <p>8.28 国鉄唐津線から蒸気機関車を消す</p> <p>9.11 九州横断自動車道正式ルート発表</p> <p>10.11 県身障者福祉会館落成</p> <p>10.15 県共済連スポーツセンター落成</p> <p>10.25 五一年国体のテーマ「若楠国体」に決定</p> <p>12.23 第一次石油危機。そのため物不足、狂乱物価、ガソリン六〇％値上がり</p> <p>12.29 佐賀医科大学設置決定</p>	<p>2.28 思斉小学校、道徳教育研究発表会（国と県の二年間研究指定）</p> <p>3.10 国鉄第五次営業近代化案が提示され、久保田駅、民間委託</p> <p>4.8 久保田保育園の入園式（第一回入園生を迎え、町保育事業始まる）</p> <p>7.12 中塚被服佐賀工場（久保田町）の起工式</p> <p>7.21 思斉中運動場完成の祝賀会</p> <p>8.28 久保田駅（唐津線全駅）から蒸気機関車、姿消す（最後の見納め見送り）</p> <p>9. タイラ工業操業開始</p> <p>10.6 独り暮らしの老人、焼身自殺</p> <p>10.22 カントリーエレベーター一号基の竣工式（二四日から稼働）</p> <p>10.23 香椎神社秋祭で町青年団主催の第二回奉納相撲大会</p> <p>11.5 念願の思斉小・中校プール完成、落成式（高木瀬小、成章中、佐賀北高、佐賀商高から、県体・国体出場優秀選手を招待、模範泳法を披露）</p> <p>11.17 子どもクラブの二五名、リーダー研修会。</p>

一九七七	五二	<p>1・11 県、筑後大ぜき建設に同意</p> <p>2・14 佐大の海洋熱発電、公開実験に成功</p> <p>2・25 県有明海漁連、諫早干拓に絶対反対</p> <p>4・5 基山町で流行性肝炎集団発生</p> <p>5・2 国立大学共通一次試験のため大学入試センター発足</p> <p>8・22 佐賀卸センター完成（鍋島町）</p>	<p>2・19 国鉄佐賀新駅開業</p> <p>3・16 中里無庵、重要無形文化財（人間国宝）となる</p> <p>4・9 県農業大学校開校</p> <p>4・13 県教委、主任制度導入</p> <p>7・1 国鉄長崎線・佐世保線、電化開業</p> <p>9・19、22 若楠国体（夏季大会）</p> <p>10・1 佐賀医科大学開学</p> <p>10・22 天皇、皇后両陛下ご来県</p> <p>10・24、29 若楠国体（秋季大会）</p> <p>12・13 国営有明干拓有明工区の帰属が決定</p> <p>12・24 保利茂衆議院議長に就任</p>	<p>4・ 園の隅）の除幕式。思斉小講堂で竣工式（九七〇鈔、四八億円）</p> <p>4・ 東京久保田町人会、東條会館で再発足</p> <p>8・17 思斉中女子ソフトボール、全九州大会（熊本水前寺球場）で初優勝</p> <p>9・10 思斉中の校旗制定。役場で授与式、学校で披露式</p> <p>10・ 農協、カントリーエレベーター二号基（サイロピン）完成</p> <p>10・ 若楠国体に町内から九人の選手出場</p> <p>11・7 県俳句協会主催の俳句大会で、思斉中が優秀校として学校賞受賞。（県下、四一三名応募者中、思斉中二五名の入賞者で県一位）</p> <p>○ 「一茶まつり」全国小中学生俳句大会で、思斉中生入賞者三〇名、県下例のない快挙</p> <p>○ 農協、給油所新築</p> <p>3・23 農協カントリーエレベーター二号基（五十年十月完成）の落成式。</p> <p>5・28 思斉中学校創立三〇周年記念祝賀式典を挙行</p> <p>9・23 思斉小学校創立百周年記念大運動会</p> <p>10・6 （老人クラブ）初のゲートボール大会開かる</p> <p>10・18 高齢者教室、孔子祭りを見学し、その後、納所老人会と交歓会</p>
------	----	---	--	--

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九七五	五〇	<p>1・4 下村湖人生家、県に寄付される</p> <p>2・1 玄海原子力発電初送電</p> <p>2・20、21 大雪、小中高校五六校休校</p> <p>3・8 唐津市に新競艇場落成</p> <p>3・10 新幹線、博多まで開通</p> <p>5・2 佐賀市旧公会堂解体</p> <p>5・6 佐賀市新庁舎開庁式</p> <p>5・21 武雄市文化会館落成</p> <p>6・8 暴走族逮捕第一号でる</p> <p>8・1 社会奉仕活動指導センター発足</p> <p>9・2 呼子の漁船北朝鮮から銃撃捕獲され二名死亡</p> <p>10・1 国勢調査、県人口八三万七六七四人</p> <p>10・18 ウィンブルドン九州テニスクラブ開場</p> <p>12・12 脊振・北山県立自然公園、川上・金立県立自然公園指定</p> <p>1・25 郵便料金値上げ、はがき二〇円封書五〇円</p> <p>1・30 日本最初の五つ子鹿児島市で誕生</p>	<p>11・23 八七歳先頭に五〇名、歩こう会清水観音へ（小城町須賀神社までの往復はバスで）</p> <p>1・ 「青色申告の町」を宣言</p> <p>1・ 町商工会館が落成</p> <p>2・8 町議会議員数を削減（二六名を二二名へ）。臨時議会で議決</p> <p>5・ 古賀町長無投票で三選</p> <p>8・8 三日月町との境界を一部変更</p> <p>9・ 中林梧竹の「鳳皇閣」、町内で発見</p> <p>10・1 西佐賀水道企業団、第三回拡張事業（分水町合併、久保田、牛津、芦刈、三日月、福富の給水区域五町となる）</p> <p>10・1 久保田町総人口六八九九人、世帯数一五九三</p> <p>10・8 町商工会婦人部創立</p> <p>10・ 農協、会計機（オリベッティ）普通預金・日計・カントリー精算等</p> <p>10・ 農村総合整備モデル事業着工</p> <p>11・28 佐賀郡南部消防署久保田出張所が久富に完成し、救急業務、防火業務に実動開始</p> <p>3・19 久保田、三日月、牛津、芦刈の四町、たまねぎ生産出荷近代化計画地区に指定</p> <p>4・30 県営圃場整備事業竣工記念碑（クリーク公園）</p>
一九七六	五一	<p>1・30 日本最初の五つ子鹿児島市で誕生</p>	<p>4・30 県営圃場整備事業竣工記念碑（クリーク公園）</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九七九	五四	<p>勝</p> <p>9・ 県水産振興大会開く</p> <p>10・23 県内初の身代金目的誘拐事件おこる</p> <p>10・28 国営干拓(有明・福富・廻里江工区)竣工</p> <p>11・1 県空港建設対策室を設置</p> <p>11・2 県栽培漁業センター落成式</p> <p>11・10 県畜産試験場落成式</p> <p>11・26 佐賀市の公共下水道使用開始</p> <p>1・16 県立九州陶磁文化センター起工式</p> <p>2・7 林業試験場落成式</p> <p>2・9 有田町と東独・マイセン市が姉妹都市調印</p> <p>2・13 伊岐佐ダム竣工式</p> <p>3・4 保利茂前衆議院議長没(七七歳)</p> <p>4・8 知事選挙、香月熊雄当選</p> <p>4・18 筑後大ぜき本体内工事着手を漁民が阻止</p>	<p>↓辻の堂↓徳万↓公民館。途中、夜食をし、翌日朝帰着</p> <p>10・ 第五回愛の花いっぱい運動・若楠花壇コンクール(県、県教委、サガテレビ、佐賀新聞社の共同主催)で長生クラブ(北田老人会)が優秀賞を受賞</p> <p>11・14 役場新庁舎落成(現在地)、及び落成式(思齊小講堂)</p> <p>11・19 西日本児童生徒俳句大会(佐賀県俳句協会主催、西日本新聞社後援)の表彰式で、佐賀女子高校と思齊小・中学校の児童生徒が受賞を独占</p> <p>12・9 子供クラブ研修会(県立青年の家、一泊二日)</p> <p>1・24 町老人交通指導員(各部落の老人クラブから二名あて選出)の任命式。(街頭指導をするのではなく、例会などで交通ルールや交通事故の実態などについて話をする)</p> <p>2・1 母子健康センター完成、開館式</p> <p>2・10 町消防団が日本消防協会表彰(優良消防団の深紅の表彰旗)を受賞。(東京の日本消防会館ホール)</p> <p>2・ 第一回社会教育研究大会開催</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九七八	五三	<p>11・30 国見有料道路開業</p> <p>12・11 県立好生館新館落成</p> <p>1・1 老人テレホンサービス発足</p> <p>1・7 県教委の家庭教育ラジオ教室「すこやかファミリー」開設</p> <p>1・25 九州横断自動車ルート上の丸山古墳群の移設に県・道路公団合意</p> <p>1・27 県、不況企業救済のため県税の納税緩和措置を実施</p> <p>2・9 有田町と東独マイセン市が姉妹都市の調印</p> <p>3・30 自治体消防制度三〇周年記念消防大会</p> <p>4・2 県立図書館、日曜日開館を実施</p> <p>4・15 佐賀医科大学第一回入学式</p> <p>4・ 水田利用再編対策実施</p> <p>5・7月 県内各地で大干害</p> <p>6・12 佐賀ロッククライミング・クラブが北米のマッキンレー登頂に成功</p> <p>7・7 県議会嘉瀬川汚濁問題で特別委員会を設置</p> <p>8・10 佐西高全国バスケット選手権大会優勝</p>	<p>10・ 役場新庁舎建設始まる</p> <p>11・12 思齊小学校創立百周年記念祝賀式典を挙げて受賞(東京日比谷公会堂で行われた第一八回交通安全全国国民運動大会において優良四団体の一つ)</p> <p>1・20 久保田漢詩吟詠会誕生(町公民館和室にて、月一回)</p> <p>1・ 農協、購買店舗拡張</p> <p>2・ 思齊中学校で交通安全宣言碑の除幕式</p> <p>4・1 町総合計画審議会、町長に答申</p> <p>4・1 西佐賀水道事業団、配水施設整備事業(ポンプ庄送から自然流下式に)</p> <p>4・ 農協、農業機械格納庫落成</p> <p>6・ 審議会答申の「久保田町総合計画基本構想」について定例町議会全員一致で可決</p> <p>9・25 役場新庁舎(完成)にて業務開始。(総工費一億七〇〇万円)</p> <p>9・ 農協三〇周年まつり</p> <p>9・ 久保田句会発会</p> <p>10・7 青年団主催夜間歩行会(夜一〇時三〇分出發、公民館↓小城町↓中極↓尼寺↓高木瀬</p>

一九八一	五六
<p>1・22 警察庁、初の校内暴力対策会議 2・21 佐賀厚生年金休暇センター起工 5・1 県食肉衛生検査所落成 5・11 県食肉センター落成 6・13 砂防事業百年記念式典 8・26 県農山漁村女性グループ研究会設立</p>	<p>(久留米市石橋文化ホール、九州各県より一四二四名の体育指導委員参集す) 3・5 塩田橋竣工式 3・13 佐賀郡大和町の国府政庁跡を突き止める 4・3 広域林道多良岳横断線開通式 5・8 県交通管制センター開所式 6・24 白石町で連続女性殺人事件 8・8 安永田町遺跡で銅矛鏃型発見 9・3 南総開発計画反対海上デモ 9・10 国体で県ヨット史上初の五連覇 10・1 国勢調査、県人口八六万五七七四人 11・1 県立九州陶磁文化館オープン 11・13 香月知事、昭和天皇に県勢を説明</p>
<p>5・11 久保田郵便局、大字徳万一六五〇―一に移転(現在の場所) 4・13 老人福祉センターの落成式 5・11 久保田郵便局、大字徳万一六五〇―一に移</p>	<p>1・18 中部農業青年実績発表大会(町公民館で) 3・9 囲碁・将棋大会―対話集会(町公民館) 3・23 町消防団第一部消防機具格納庫が完成し落成式 5・24 町農村高齢者交流施設「町民いこいの場」が完成し落成式 7・11 久保田保育園に、「母子共に交通ルールを守る交通安全クラブ」発足 7・29 暴走族追放に関する決議を臨時町議会で議決 8・4 青少年育成町民会議結成 8・ 農協、九州オンライン開通(普通貯金および定期預金) 9・9 名誉町民の中尾都昭死去 9・26 同右の葬儀、菩提寺の寿慶寺にて 10・1 久保田町総人口八八六九人、世帯数一六五五 10・10 第二回町体育祭 12・5 町文化祭(昨年までは「文化展」)。九日まで。 2・23 東与賀町・久保田町両議会議員合同研修会(本町の農村高齢者交流施設「町民いこいの場」にて) 4・13 老人福祉センターの落成式 5・11 久保田郵便局、大字徳万一六五〇―一に移</p>

一九八〇	西暦	五五	年号
<p>12・ 「県重点三か年計画」策定 12・ 「最後の佐賀干拓、代行福富干拓が完成 2・23、24 九州地区体育指導委員研究会 12・ 開発反対で漁船一四〇〇隻海上デモ 12・21 南総(長崎南部地域総合開発計画) 11・ 安永田遺跡で銅鐸鑄型出土 11・7 第三回全国お茶まつり(嬉野町) 10・ 有田古窯跡群・町並保全調査会発足 10・7 衆院選挙、当選者保利耕輔・八木昇・愛野興一郎・山下徳夫・大坪健一郎 9・26 県産ノリ、四年連続日本一を記録 9・4 全国製茶品評会、嬉野町で開催 8・30 県内のがん死亡率、日本一に 8・27 県道古湯〜小城線開通式 7・18 「高校生と二輪車」をテーマにシンポジウム開催、事故防止対策を探る 6・26、29 豪雨、県下各地に被害、床上浸水鹿島・佐賀市などで五〇三戸 6・13 地域福祉振興センター落成式 6・1 伊万里養護学校開校式 5・21 繁昌ダム竣工式 5・18 嬉野警察署落成式</p>	<p>国・県内のできごと</p>	<p>1・6 嘉瀬川グラウンドで子供クラブたこ上げ大会(六〇名参加) 12・ 老人福祉電話の架設(昨年六台、今年三五台収容) 11・1 思斉中、教育工学の研究発表 11・7 中尾都昭(初の名誉町民)胸像の除幕式 10・20 農協の近代的な農業倉庫新築、落成式(総工費、一億五四〇万円。三二、〇〇〇畝収容) 10・10 第一回町スポーツ大会(五〇〇人が集う) 8・ 盆おどり一〇周年記念大会 4・ 古賀了町長無投票で四選 4・18 結核検診優良町の表彰を受く 3・27 郡子供クラブ研修会(泊二日、郡青年会館)に本町から二六名参加 3・12 町社会体育指導員を任命(七名)</p>	<p>町内のできごと</p>

<p>4・13 閣議、八・一五日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と制定</p> <p>5・21 県立高校の学区拡大される</p> <p>7・9 鳥栖市文化会館落成</p> <p>7・23 九州西北部に集中豪雨、長崎市で死者行方不明二九九人</p> <p>8・8 佐賀商高の新谷選手、甲子園一回戦でノーヒット・ノーラン達成</p> <p>8・19 神埼町切畑遺跡から全国初の土師器製角杯</p> <p>9・14 畑作試験場落成式</p> <p>9・14 香月知事、玄海原発三、四号機増設に同意</p> <p>10・9 唐津線連続立体交差開通式</p> <p>10・21 九州横断道ルート上の丸山遺跡、特殊工法で移転完了</p> <p>12・1 唐津総合庁舎落成式</p> <p>12・11 広域基幹林道佐賀北部線開通式</p> <p>12・13 県総合開発審議会、八〇年代佐賀県総合計画を答申</p>	<p>4・25 町民体育祭</p> <p>5・16 ゲートボール協会一周年記念大会</p> <p>5・18 寝たきり老人・重度心身障害者入浴サービス事業始まる（多久市の特老・天寿荘と委託契約、経費無料）</p> <p>7・5 旧称「大立野郵便局」が久富に新築移転。「久保田久富郵便局」と局名改称</p> <p>9・27 農村環境改善センター落成式</p> <p>9・ 思斉中体育大会総合優勝旗が第九代校長中野和氏より寄贈</p> <p>9・ 農協カントリー一号基能力アップの改造</p> <p>9・ 農協、電算機導入（オリベッティ）（購買、カントリーシステム）</p> <p>10・10 第四回町スポーツ大会（「体育祭」を改称）</p> <p>10・17 久保田保育園、創立一〇周年を迎え記念式典と運動会</p> <p>10・18 第一回高齢者スポーツ大会</p> <p>10・20 町民主催の第一回慰霊祭</p> <p>10・29 国民年金事業優良市町村として社会保険庁長官表彰（県自治会館で伝達式）</p> <p>11・3・8 第九回町文化祭</p> <p>11・6・8 全国青年大会へ町青年女子バレーボール出場</p>	

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八二	五七	<p>8・31 菜畑遺跡（唐津市）で日本最古の水田遺構を確認</p> <p>9・3 「よみがえれ佐賀展」開催</p> <p>10・10 全国漁港建設技術研究会</p> <p>10・24 第一回林業祭り</p> <p>10・26 佐賀医科大学附属病院開院</p> <p>11・16 鍋島直紹没（69歳）</p> <p>12・20 全国高校駅伝で鳥栖高準優勝</p> <p>○この年、女性の運転免許者一〇〇〇万人を突破。宅配便の取扱一億個に迫る</p>	<p>5・23 町ゲートボール協会結成記念大会（中学校グラウンド、二六チーム参加）</p> <p>8・19 思斉中、中学校相撲競技全国大会に県代表として出場（東京蔵前国技館）</p> <p>10・10 第三回町体育祭</p> <p>10・16 白菊子供クラブ（上新ヶ江）、香椎神社秋祭りに面浮立を奉納</p> <p>10・ 町民総ぐるみ青少年育成運動を推進</p> <p>10・ 一人暮らしのお年寄りに給食開始</p> <p>10・ 農協、カントリーエレベーター二号基にカスケードドライヤーを増設</p> <p>11・4 第三〇回全国青年大会（東京）に県代表として出場した久保田町青年柔道チーム、準優勝</p> <p>11・ 町婦人防火クラブ並びに少年防火クラブ結成式</p> <p>1・24 第一回町社会体育研究大会</p> <p>2・10 県教委・県視聴覚連絡協議会主催の自作視聴教材コンクールで、思斉中武藤隆彦教諭の企画製作の『わたくしたちの郷土久保田』が最優秀賞に</p> <p>2・28 第四回町社会教育研究大会</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八三	五八	1・10 県総合福祉センターが完成、オープン 2・24 筑後大ぜき、送水はじまる 3・5 県果樹試験場が新品種ミカン「サガマンダリン」開発に成功、種苗登録申請 4・1 佐賀市に続いて浜玉町でラブホテル建設規制条例施行 4・10 香月熊雄知事再選 5・1 県立精神薄弱児通園施設「くすのみ園」が開園 5・3 「21世紀県民の森」開園式 5・9 県政一〇〇年記念式典行われる 5・26 県体育館落成二〇周年記念新体操国際演技会 5・31 神埼郡千代田町議会議員、汚職事件で県内初の議員総辞職 6・5 環境美化行動の日 6・14 現代工芸美術九州会展 7・19 活力ある豊かな「むら」づくり研究会 8・1 県中小企業情報センター業務開始	12 農協、大豆集荷所を新築 2・20 第五回社会教育研究大会 2・27 町青年団、一人暮らし老人と交歓会 3 第一回町駅伝大会(町教委・町体協主催) 4・1 町防災行政無線開局 4・24 森賢一町長誕生(二六年ぶりの町長選挙)。 町議会議員選挙 4 佐賀板紙株式会社と本州ダンボール工業株式会社との合併により「本州ダンボール工業株式会社板紙事業本部佐賀板紙工場」と改称 5・3 町民体育祭 5・20 町さつき展 6・5 町ゲートボール協会、発足二周年記念大会 6・22 久保田郵便局、電報配達事務を廃止 7・3 第二回高齢者スポーツ大会 7・3 那身障者ゲートボール大会で久保田Bが優勝 8・24 佐賀農業産地づくり運動の久保田町推進本部(本部長に森町長)を設置 9・6 第五回県高齢者ゲートボール大会で江戸チーム初優勝(十月二十一日の九州大会へ) 10・7 町老人クラブ連合会の創立一五周年記念福
一九八四	五九	10・8 県立美術館開館 10・20 佐賀厚生年金休暇センター落成式 12・10 川副大橋開通式 12・26 嘉瀬川ダム建設予定地の立ち入り調査で、国・県・地元が協定調印 ○この年、独居老人(65歳以上)一〇四万六〇〇〇人となる。「おしん」ブーム佐賀でも話題となる	10・9 祉大会(総合センター、三〇〇人) 第五回久保田町スポーツ大会(総勢二五〇人) 10・14 第四回老人クラブと婦人会と交歓会 10・18 巡回スポーツ指導、高齢者健康・体力づくり教室(10・28、11・8も) 10・20 町民主催の第二回慰霊祭 10・21 九州高齢者ゲートボール大会に江戸チーム(県大会で優勝)が出場 10 農協、給油所を改築 11・1 町献血推進協議会を設置 11・3 第一〇回町文化祭。七日まで 叙勲褒章で、古賀了前町長に勲三等瑞宝章、古賀醇一郎窓乃梅社長に黄綬褒章 11 町母子愛育会県知事表彰を受賞 11 古賀了前町長に名誉町民の章を授与 2・4 古賀了前町長(勲三等瑞宝章)と古賀醇一郎窓乃梅社長(黄綬褒章)の叙勲褒章祝賀会 2・19 第六回社会教育研究大会 2 第一回産業・健康まつり 4・29 町民体育祭 6 町消防本部発足一〇周年。職員九七名、消防自動車二〇台、県下で屈指の消防本部と

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八三	五八	1・10 県総合福祉センターが完成、オープン 2・24 筑後大ぜき、送水はじまる 3・5 県果樹試験場が新品種ミカン「サガマンダリン」開発に成功、種苗登録申請 4・1 佐賀市に続いて浜玉町でラブホテル建設規制条例施行 4・10 香月熊雄知事再選 5・1 県立精神薄弱児通園施設「くすのみ園」が開園 5・3 「21世紀県民の森」開園式 5・9 県政一〇〇年記念式典行われる 5・26 県体育館落成二〇周年記念新体操国際演技会 5・31 神埼郡千代田町議会議員、汚職事件で県内初の議員総辞職 6・5 環境美化行動の日 6・14 現代工芸美術九州会展 7・19 活力ある豊かな「むら」づくり研究会 8・1 県中小企業情報センター業務開始	12 農協、大豆集荷所を新築 2・20 第五回社会教育研究大会 2・27 町青年団、一人暮らし老人と交歓会 3 第一回町駅伝大会(町教委・町体協主催) 4・1 町防災行政無線開局 4・24 森賢一町長誕生(二六年ぶりの町長選挙)。 町議会議員選挙 4 佐賀板紙株式会社と本州ダンボール工業株式会社との合併により「本州ダンボール工業株式会社板紙事業本部佐賀板紙工場」と改称 5・3 町民体育祭 5・20 町さつき展 6・5 町ゲートボール協会、発足二周年記念大会 6・22 久保田郵便局、電報配達事務を廃止 7・3 第二回高齢者スポーツ大会 7・3 那身障者ゲートボール大会で久保田Bが優勝 8・24 佐賀農業産地づくり運動の久保田町推進本部(本部長に森町長)を設置 9・6 第五回県高齢者ゲートボール大会で江戸チーム初優勝(十月二十一日の九州大会へ) 10・7 町老人クラブ連合会の創立一五周年記念福
一九八四	五九	10・8 県立美術館開館 10・20 佐賀厚生年金休暇センター落成式 12・10 川副大橋開通式 12・26 嘉瀬川ダム建設予定地の立ち入り調査で、国・県・地元が協定調印 ○この年、独居老人(65歳以上)一〇四万六〇〇〇人となる。「おしん」ブーム佐賀でも話題となる	10・9 祉大会(総合センター、三〇〇人) 第五回久保田町スポーツ大会(総勢二五〇人) 10・14 第四回老人クラブと婦人会と交歓会 10・18 巡回スポーツ指導、高齢者健康・体力づくり教室(10・28、11・8も) 10・20 町民主催の第二回慰霊祭 10・21 九州高齢者ゲートボール大会に江戸チーム(県大会で優勝)が出場 10 農協、給油所を改築 11・1 町献血推進協議会を設置 11・3 第一〇回町文化祭。七日まで 叙勲褒章で、古賀了前町長に勲三等瑞宝章、古賀醇一郎窓乃梅社長に黄綬褒章 11 町母子愛育会県知事表彰を受賞 11 古賀了前町長に名誉町民の章を授与 2・4 古賀了前町長(勲三等瑞宝章)と古賀醇一郎窓乃梅社長(黄綬褒章)の叙勲褒章祝賀会 2・19 第六回社会教育研究大会 2 第一回産業・健康まつり 4・29 町民体育祭 6 町消防本部発足一〇周年。職員九七名、消防自動車二〇台、県下で屈指の消防本部と

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八六	六一	<p>4.3 県観光連盟が「専門ガイド制」を導入</p> <p>4.11 県立窯業大学第一回生入学式</p> <p>5.27 佐賀県技術立県懇話会報告書知事提出・文化アセスメント知事提出</p> <p>6.29 国際青年年、第一回青年フォーラム</p> <p>7.13 青少年非行防止決起大会</p> <p>8.1 佐賀県「観光の日」記念式典</p> <p>8.10 国際森林年記念 県民の森音楽祭</p> <p>9.11 がん撲滅県大会</p> <p>10.18 佐賀農業産地づくり運動県交流大会</p> <p>11.12 国民参政九五周年・普選六〇周年・婦人参政四〇周年記念大会</p> <p>1.30 国立病院に「母子医療センター」落成</p> <p>2.21 泉重千代（二〇歳）さん、世界最高齢者に</p> <p>3.18 九州横断自動車道（佐賀大和〜武雄北方）開通</p> <p>4.11 六〇歳定年を義務付ける</p> <p>4.19 特別養護老人ホーム「済昭園」落成</p> <p>4.26 精神薄弱者授産施設「天山学園」開園</p>	<p>5. 第一五回少年剣道大楠公兜争奪戦（佐賀八幡・楠神社）で思斉中剣道部優勝し、念願の大楠公兜と副賞の太刀を手中に</p> <p>6.13 郷土出身の土井定包大和証券社長、町に五〇〇万円寄贈（累計で一五〇〇万円）</p> <p>6.13 中国建築学会視察団来町</p> <p>8. 台風一三号襲来（干拓堤防決壊、農産物の被害六億三千万円）</p> <p>10.1 久保田町総人口六七三三人、世帯数一六四六</p> <p>10. 農協、野菜選果所新築</p> <p>11. モデル事業第一号農村公園完成（棚西）</p> <p>11. 嘉瀬川グラウンド完成（久保田町専用）</p> <p>12.3 町青年団柔道部、全国大会へ出場（県大会で優勝して）</p> <p>12.3 思斉中学校舎竣工（総工費五億七千九百万円）</p> <p>12.3 第八回社会教育研究大会</p> <p>3.22 第三回産業・健康まつり（二十三日も）</p> <p>3. 中島建設並びに丸福建設より思斉中へ校舎建築記念としてグラウンドピアノ寄贈</p> <p>7.12 思斉小学校舎改築工事起工式</p> <p>8.10 久保田町民歌、町音頭制定</p> <p>8. 農協、農機整備センター新築</p> <p>8.29 町民音頭の講習会</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八五	六〇	<p>1.11 三瀬トンネル開通式</p> <p>3.27 県アイバンク協会設立</p> <p>3.28 九州横断自動車道（鳥栖〜佐賀大和）開通式</p> <p>5.2 児童福祉週間 第一回ちびっ子祭り</p> <p>5.24 県政モニター懇談会開催</p> <p>6.5 「環境週間」街頭キャンペーン、環境パトロール</p> <p>7.22 親と子の薬草教室</p> <p>9.1 高校入試検討委員会設置</p> <p>9.23 第一回動物愛護フェスティバル</p> <p>10.15 暴力追放県民大会開く</p> <p>10.17 第一回佐賀県物産まつり</p> <p>10.31 筑後大せき完成</p> <p>11.11 「はがくれの塔」（沖繩）慰霊祭</p> <p>11.23 熱気球日本選手権大会</p> <p>11.25 ふるさとの祭典・青少年のつどい</p> <p>11.27 県産業教育一〇〇年記念式典</p>	<p>7.12 古賀了名誉町民（前町長）、教育振興基金として五〇万円寄贈</p> <p>7.25 第二回「ひとり暮らし老人を囲む中食会」（町福祉の町づくり推進協議会主催）</p> <p>7.28 思斉中、校舎改築工事の起工式</p> <p>8.22 思斉小・中校、「豊かな学校給食をめざす献立調理発表会」に参加、自由部門（牛乳を上手に利用した献立）において最優秀賞を受賞</p> <p>10.7 第三七回県民体育大会の柔道、ゲートボールは久保田会場、会場で上新ヶ江浮立を披露。県体で町柔道部、二連勝</p> <p>11.11 庁舎の「胸像園」衣替え完成（町東の満岡造園の善意で）</p> <p>12.12 農協、金融徳万支店及びAコープ徳万支店新築オープン</p> <p>12.27 宮原医院、町に一〇〇万円寄贈</p> <p>2.24 第七回社会教育研究大会</p> <p>3.19 久保田駅、無人駅に。北田踏切、四時三〇分から自動化</p> <p>4.28 町民体育祭</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八八	平成 六三	<p>原が『日本の道百選』に選定される</p> <p>8・31 台風二二号襲来、死者一人負傷者一九人、農作物被害約七六億円にのぼる</p> <p>9・28 県産水稲作況指数九〇「著しい不良」全国二番目の悪さ（九州農政局発表）</p> <p>10・1 情報公開制度スタート</p> <p>12・1 地方自治法施行四〇周年、自治制公布百年記念式典</p> <p>4・1 松浦鉄道開業</p> <p>4・8 県立致遠館高校開校</p> <p>4・10 瀬戸大橋開通</p> <p>4・27 三瀬どんぐり村開園</p> <p>11・19 佐賀バルーンフェスタ開催</p>	<p>8・19 男子バレー久保田クラブ、全国大会出場</p> <p>9・ 農協、堆肥舎改築</p> <p>10・3 町老人クラブ連合会、創立二〇周年記念福祉大会開催</p> <p>12・7 西佐賀水道事業団、第四回拡張事業（三日月町一部統合、給水人口三三、八〇〇人へ）</p> <p>3・19 第六回産業・健康まつり。アントニオ古賀氏、記念講演</p> <p>4・22 ふるさと創生一億円事業公聴会</p> <p>4・28 町体育大会</p> <p>4 宗教法人善隣会から町に優勝旗寄贈（町体育大会の部落対抗リレー優勝部落に渡さる）</p> <p>6 町内文化財に案内標識と説明板を設置</p> <p>7・9 がん撲滅大会（体験発表と講演）</p> <p>7・29 思斉小体育館と給食室が竣工</p>
一九八九	平成 六四	<p>1・7 昭和天皇崩御（元号「平成」と改元）</p> <p>1・10 一人当たり県民所得一八〇万六〇〇〇円、前年度比四・〇％の増加</p> <p>2・23 吉野ヶ里遺跡の調査結果、新聞、テレビで全国報道</p> <p>3・18 佐賀産業技術情報センター開所</p> <p>4・8 呼子大橋開通式</p> <p>4・10 県産業振興センター開所</p> <p>4・28 波戸岬海浜公園開園</p>	<p>10・20 町民主催の第五回戦没者慰霊祭</p> <p>11・2 町文化祭（三日）</p> <p>11・8 町青年団バレーボール部、全国バレーボール青年祭出場（東村山市）</p> <p>12・1 久保田幼稚園、改築竣工</p> <p>2・22 第九回社会教育研究大会</p> <p>3・4 町消防団、消防庁長官表彰（表彰旗）受賞（東京虎ノ門日防ホール）</p> <p>3・21 町政施行二〇周年記念式典と産業・健康まつり（二十二日）</p> <p>3 農協事務所（Aコープ久保田店）新築</p> <p>4 森町長再選</p> <p>9 久保田保育園則交差点に半感応式信号機設置</p> <p>10・20 町民主催の第六回慰霊祭</p> <p>11・1 役場に電子計算機導入</p> <p>11・1・3 町文化祭</p> <p>11・4 青少年育成町民会議、全国表彰</p> <p>11・12 大島鉄工（北田）、赤十字社表彰</p> <p>11・15 徳間公民館新築</p> <p>11・21 思斉小校舎竣工式（総工費五億二一六〇万円）</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九八七	六二	<p>5 〇吉野ヶ里遺跡本格発掘調査始まる</p> <p>7・24 着工から七年目、三瀬トンネル開通</p> <p>7・26 県立総合体育館完成</p> <p>11・11 勤労福祉会館落成</p> <p>12・3 減反目標、県内水田面積の四分の一</p> <p>12・7 第一回郡市対抗女子駅伝開催</p> <p>1・9 有田町がオランダ・デルフト市との交流促進を決定</p> <p>2・5 九州横断自動車道（鳥栖〜福岡・朝倉間の一九キ）が完成</p> <p>3・18 九州横断道（佐賀大和〜武雄北方）開通</p> <p>3・27 国鉄佐賀線（佐賀駅〜瀬高駅）廃止</p> <p>4・1 中高一貫私立学校、弘学館開学</p> <p>4・8 映画「次郎物語」県内ロケ（〜25）</p> <p>4・12 知事選、香月熊雄三選</p> <p>4・20 北山少年自然の家開設</p> <p>5・22・25 昭和天皇県内巡幸</p> <p>5・24 第三八回全国植樹祭、嬉野町で開催</p> <p>7 県立普通高校の全校が夏休み勉強合宿</p> <p>8・3 東松浦郡浜玉町〜唐津市間の虹の松</p>	<p>10・20 町民主催の第五回戦没者慰霊祭</p> <p>11・2 町文化祭（三日）</p> <p>11・8 町青年団バレーボール部、全国バレーボール青年祭出場（東村山市）</p> <p>12・1 久保田幼稚園、改築竣工</p> <p>2・22 第九回社会教育研究大会</p> <p>3・4 町消防団、消防庁長官表彰（表彰旗）受賞（東京虎ノ門日防ホール）</p> <p>3・21 町政施行二〇周年記念式典と産業・健康まつり（二十二日）</p> <p>3 農協事務所（Aコープ久保田店）新築</p> <p>4 森町長再選</p> <p>9 久保田保育園則交差点に半感応式信号機設置</p> <p>10・20 町民主催の第六回慰霊祭</p> <p>11・1 役場に電子計算機導入</p> <p>11・1・3 町文化祭</p> <p>11・4 青少年育成町民会議、全国表彰</p> <p>11・12 大島鉄工（北田）、赤十字社表彰</p> <p>11・15 徳間公民館新築</p> <p>11・21 思斉小校舎竣工式（総工費五億二一六〇万円）</p>

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九一	三	<p>2 にかけて梅雨前線豪雨災害、死者二人、被害総額五八〇億円</p> <p>8・25 連続四四日の真夏日(7・13日から)</p> <p>9・20 嘉瀬川ダム、富士町振興計画調印</p> <p>10・16 県運転免許センター開所</p> <p>12・13 県内タクシー料金平均一〇・一%値上げ</p> <p>1・17 産業技術活性化シンポジウム</p> <p>2・2 県庁舎新行政棟開庁式</p> <p>3・1 佐賀県長寿社会振興財団設立</p> <p>3・20、31 第一回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西洋絵画への挑戦」</p> <p>3・25 県赤十字血液センター竣工式</p> <p>4・7 知事選、井本勇初当選</p> <p>5・28 吉野ヶ里遺跡、国の特別史跡指定</p> <p>6・3 県道佐賀環状自転車道(徐福サイクルロード)開通式</p> <p>6・9、10 県内各地で局地的な大雨被害</p> <p>7・22 嘉瀬川ダム建設問題で建設省の基本計画案を佐賀郡富士町が臨時議会で可決</p> <p>8・3 吉野ヶ里国営公園実現推進協議会設立</p> <p>9・13、14 台風一七号襲来、被害甚大</p>	<p>9・30 町文化協会が発足</p> <p>10・1 久保田町総人口六六四四人、世帯数一六七八</p> <p>12 第一回社会福祉大会</p> <p>1・10 西佐賀水道事業団第五拡張事業(給水人口三四、三五〇人。一日最大給水量佐賀市より浄水五、〇〇〇m³受入で一四、六〇〇m³となる)</p> <p>2・24 第一三回社会教育研究大会</p> <p>3・24 走ろう歩こう大会(二〇〇人参加)</p> <p>3 嘉瀬川大堰竣工</p> <p>4 森町長三選</p> <p>6・27 郡南部四町(久保田・東与賀・諸富・川副)婦人会合同研修会(国立阿蘇青年の家にて一泊二日)</p> <p>8・21 「久保田町思斉教育振興会」発足</p> <p>8・22 あすを担う人づくり事業で中国へ研修派遣(中・高生及び婦人、五泊六日)</p> <p>8 町租税教育推進協議会設立</p> <p>8 上恒安で文化財発掘調査開始</p>

西 暦	年 号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九〇	二	<p>6・12 松浦川揚水機場通水式</p> <p>9・9 吉野ヶ里遺跡シンポジウム開かれる</p> <p>10・6 第三回アジア太平洋開発佐賀会議</p> <p>10・26 県高度情報報化推進協議会設立</p> <p>11・30 西九州自動車道(武雄〜佐世保)開通</p> <p>1・2 嬉野町に「肥前夢街道」がオープン</p> <p>1・26 長崎自動車道(武雄北方〜大村)開通</p> <p>2・3 県立病院好生館棟落成式</p> <p>2・25 第一回九州身体障害者インドアアーチエリー大会、団体の部天山チーム優勝</p> <p>2・28 保利耕輔、文部大臣として入閣</p> <p>3・22 県「ふるさと大賞」に呼子町の「夜景・水と光のページェント」を選定</p> <p>4・1 精神薄弱者更生施設「脊振学園」開設</p> <p>4・4 県上場営農センター開所</p> <p>5・2 「風の見える丘公園」(加部島)開園</p> <p>5・23 吉野ヶ里遺跡、国の史跡に指定</p> <p>7・2、3 災害対策本部設置(6・28〜7・</p>	<p>7 思斉中柔剣道場の起工式</p> <p>7 町民グラウンドの起工式</p> <p>10・20 町民主催の第八回慰霊祭</p> <p>10 農協、大豆選別所新築</p> <p>2・10 思斉中柔剣道場竣工式。</p> <p>2・10 郷土出身の土井定包(大和証券社長)氏に名誉町民の章授与</p> <p>2・26 第二回社会教育研究大会「命と心のふれあいを大切にする生涯学習の在り方」を研究主題</p> <p>3・25 第七回産業・健康まつり</p> <p>3 町婦人会史『私たちの生きた昭和』発刊</p> <p>3 町民グラウンド完成</p> <p>4 「水と緑の日」(町内環境美化)始まる</p> <p>4 横江駐在所新築移転</p> <p>5・1 特別養護老人ホーム南鳴荘オープン</p> <p>5 農協、カントリー三号基建造</p> <p>5 役場、第二、四土曜日閉庁となる</p> <p>7 外国語指導助手招致事業始まる(デビツト・サンティイリさん)</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九三	五	<p>8・1 県の総合文化雑誌『新郷土』が休刊</p> <p>8・1 バルセロナ五輪の男子柔道で北茂安町出身の古賀稔彦選手が金メダル。十八日、県民栄誉賞受賞</p> <p>9・1 県庁土曜閉庁始まる</p> <p>9・22 ごみ減量化シンポジウム</p> <p>10・13 生涯学習フォーラム</p> <p>12・12 「国連・障害者の十年」最終年の集い</p> <p>1・27 国道二六四号豆津橋開通式</p> <p>3・11 高齢者大学第一回卒業式、一〇一人</p> <p>3・29 世界・森の博覧会実行委員会発足</p> <p>4・1 三歳未満の乳幼児に係る医療費の無料化始まる</p> <p>4・21 有田ポーセリンパーク開業</p> <p>4・30 吉野ヶ里遺跡見学者七〇〇万人達成</p> <p>5・13 吉野ヶ里歴史公園基本計画正式承認</p> <p>6・1 日韓海峡沿岸県市道知事交流会議(嬉野町)</p> <p>6・13 県内一斉「ふるさと美化活動」</p> <p>6・16 県観光・物産キャンペーン推進協議会設立</p>	<p>10・ TV東京が久富西の訛摩角夫さん宅でガイツケを収録(放映は5・1・9)</p> <p>10・ 嘉瀬川大堰稼働開始</p> <p>10・ 農協、汎用コンバイン二台導入</p> <p>11・1・3 町文化祭</p> <p>11・2 役場の各課に直通電話がつく</p> <p>11・6 第四一回全国青年大会剣道女子の部で町青年団チーム第四位入賞。</p> <p>11・20 ママさんバレー久保田(あかね)が九州大会(鹿児島市)で第三位入賞</p> <p>1・9 五年十月に収録された「有明海の珍珠ガイツケ」がTV東京の「土曜スペシャル」で放映</p> <p>1・17 NHKのど自慢公開録画とり(思斉小体育館)(二月二十一日放映)</p> <p>1・20 高齢者給食サービス始まる</p> <p>2・7 第一回保健福祉大会</p> <p>2・19 町婦人防火クラブ、全国表彰を受賞</p> <p>2・28 第一五回社会教育研究大会</p> <p>3・ 町民クラウンドナイター設備完成</p> <p>5・16 前山旗ふれあい福祉ゲートボール大会</p> <p>5・ 町児童館が完成、オープン</p> <p>5・ 大島鉄工の寄付により「大島文庫」設立</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九二	四	<p>9・21 有田町長がドイツ・マイセン市と姉妹都市締結調印を行う</p> <p>9・27 台風一九号襲来、農林業を中心に大被害</p> <p>10・18・20 吉野ヶ里フェスタ開かれる</p> <p>10・28 出生率低下対策検討委員会設置</p> <p>12・1 「91佐賀県民第九」公演行われる</p> <p>1・4 県外からのUターン就職希望者を対象とした「Uターン相談会」開く</p> <p>3・1 新救急医療情報システム運用開始</p> <p>3・7 県スポーツ会館落成式</p> <p>3・24 県暴力追放運動推進センター設立</p> <p>4・1 エフエム佐賀開局</p> <p>4・16 盲導犬(佐賀県第一号)貸与式</p> <p>5・11 天皇皇后両陛下が地方事情視察で来県</p> <p>6・5 雇用における男女の機会均等と待遇の確保について「機会均等推進責任者セミナー」開く</p> <p>6・17 吉野ヶ里遺跡見学者六〇〇万人達成記念式典</p> <p>7・6 廃棄物対策本部設置</p>	<p>9・ 台風一七号、一九号の直撃(農産物の被害八六三杉、九億一千万円)</p> <p>10・20 町民主催の第一〇回慰霊祭</p> <p>10・ 県民体育大会剣道競技は本町で開催</p> <p>11・3 町文化祭。二日目の四日午前中、佐賀大学管弦楽団の演奏</p> <p>2・23 第一四回社会教育研究大会</p> <p>3・7 郡南部四町(諸富・川副・東与賀・久保田)初の共同イベント「ドロンバ王国建国祭」(森林公園)</p> <p>3・ 農協、玉ねぎ貯蔵施設新設</p> <p>6・7 町文化協会総会。郷土史家福岡博氏、「佐賀文化よもやま話」の講演</p> <p>6・ 上恒安遺跡発掘調査</p> <p>9・22 あすを担う人づくり事業でアメリカ研修派遣(二十九日まで)</p> <p>9・ 思斉両校、二学期から月一回Ⅱ第二土曜日休校</p> <p>9・ 農協、肥料倉庫新設</p> <p>9・ 農協、農機具格納庫新設</p> <p>10・18 町民主催の第一一回慰霊祭</p>

<p>2・17 「県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」が発足</p> <p>2・18 佐賀県緊急雇用対策本部設置</p> <p>2・20 県庁新行政棟落成式</p> <p>3・4 町村として全国初の大和町春日児童センター開業</p> <p>3・8 県高齢者保健福祉計画（県ゴールドプラン）策定</p> <p>4・2 県産業技術センター落成式</p> <p>4・30 地方拠点都市地域指定（唐津・東松）</p> <p>5・1 県内初のケアハウス「あおぞら」開設</p> <p>6・1 県環境美化条例施行、同条例制定記念「県民のつどい」開催</p> <p>6・1 県ボランティアセンター開設</p> <p>7・16 最高気温三九・六度、佐賀気象台観測史上最高を記録</p> <p>7・18 県濁水対策本部設置</p> <p>7・30 佐賀空港建設工事着工</p> <p>8・21 夏の甲子園大会で、佐賀商業高初優勝</p> <p>8・25、26 伊万里市や県東部町村で、上水道一二時間断水始まる</p>	<p>3・ 3 ふれあいクリーク公園完成</p> <p>4・ 27 首都圏在住者の「久保田会」（会長土井定包氏）開催</p> <p>4・ 「二一世紀を担う人づくり基金」への出資金募集始まる</p> <p>4・ 下水道事業始まる</p> <p>5・ 18 「ふれあいクリーク公園」オープン</p> <p>6・ 5 町文化協会総会</p> <p>6・ 10 第二回在宅療養看護教室を開催</p> <p>6・ 26 特産物直売所開設一周年記念売り出しでにぎわう</p> <p>8・ 16 あすを担う人づくり事業「94訪韓の翼」出発。三泊四日（釜山・慶州・ソウルを回り、現地の中学生と交流会などの研修）</p> <p>8・ 19 昭和十四年以來の少雨、五五年ぶりの大旱ばつ</p> <p>8・ 27 ふれあいクリーク公園で「ふれあい夏まつり」（つなぎのつかみ取り、アマチュアバンド演奏、夜店も出る）</p> <p>9・ 10 「肥前歴史街道いきいき道中in久保田」（長崎街道沿い）にぎわう。</p> <p>10・ 20 町民主催の慰霊祭</p> <p>11・ 3、6 久保田町文化祭</p>	

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九四	六	<p>7・1 佐賀県福祉人材センター開設</p> <p>7・30 県内初の地域福祉センター三田川町総合保健福祉センター落成</p> <p>7・ 知的障害者の共同作業所「かささぎの里」を運営する「かささぎ福祉会」の法人化を県が認可</p> <p>8・19、20 大雨、各地で水害</p> <p>10・4 「21世紀職業財団」佐賀事務所が開設</p> <p>10・29 県立春日園新築落成式</p> <p>10・30 県立名護屋城博物館開館</p> <p>11・30 佐賀県下水道推進協議会設立</p> <p>12・3 「佐賀県女性の翼の会」による元如蘭塾生とその子女二人「日中の集い」開催</p> <p>12・16 県緊急農業・農村対策本部設置</p>	<p>6・6 町文化協会総会</p> <p>6・8 町「男の健康教室」始まる</p> <p>6・9 久保田特産品直売所（町・農協・商工会・漁協の共同運営）がオープン</p> <p>10・1 町、工業統計調査で通産大臣表彰受賞</p> <p>10・4 あすを担う人づくり事業でヨーロッパ研修派遣。（七泊八日）</p> <p>10・14 第二回保健福祉大会</p> <p>10・16 青年団秋祭り</p> <p>10・18 久保田幼稚園、文部大臣表彰受賞</p> <p>10・20 町民主催の慰霊祭</p> <p>10・24 初のグランド・ゴルフ大会（小学生から高齢者まで三八名参加）</p> <p>10・31 町文化祭。11・3まで</p> <p>11・19 佐賀インターナショナル・バルーンフェスタ（嘉瀬川河川敷）のイベントとして、快万の銭太鼓浮立を披露</p> <p>12・12 町文化協会設立三周年記念で佐賀仁○加筑紫美主子劇団の公演</p> <p>12・ 農協、レストラン与羅ん館新設</p> <p>2・27 第一六回社会教育研究大会</p> <p>3・20 太陽と緑のふれあいまつり</p>

一九九七	九	<p>1・20 日本最古の文字発見(三重県片部遺跡)</p> <p>3・4 脊振村、宅地一坪月額百円で貸与、過疎村対策。一五年居住でプレゼント</p> <p>4・1 長崎原爆資料館開館</p> <p>4・19 鳥栖柚比本村遺跡漆鞘銅剣など国重要文化財</p> <p>5・23 サツチャー前英首相来佐</p> <p>6・13 福岡空港で旅客機炎上</p> <p>7・2 日韓で同型の鏡出土。四世紀の交流を証す</p> <p>7・19 焔博覧会開催(九州初のジャパン・エキスポとして、世界・焔の博覧会が、有田町などで開会。10・23の閉会までに二五五万人入場)</p> <p>7・23 皇太子ご夫妻初の来卓</p> <p>7・31 〇一五七伝染病指定</p> <p>8・8 佐賀市立図書館開館</p> <p>10・14 九州初生体肝移植(九大医学部付属病院)</p> <p>11・15 筑後川昇開橋、文化財に(国の登録有形文化財)</p> <p>11・16 ソウル旧総督府建物を完全解体</p> <p>1・4 島根県沖でロシア船籍タンカー「ナ</p>	<p>3・1 町農業後継者クラブ、全国青年農業者会議へ県代表として参加、農林水産省農産園芸局長賞を受賞</p> <p>3・3 佐賀地区文化団体交流・第一回「水と緑・さわやか文化祭」(改善センター)</p> <p>3 (国営総合農地防災事業)久保田第一排水機場、下新ヶ江地区に完成</p> <p>3 西佐賀水道企業団、水道事業基本計画を作成</p> <p>4・13 第一回「くぼた人づくり塾」開校(佐賀新聞社の稲田繁生専務の講演)</p> <p>6 町議会、町第四次総合計画策定を可決</p> <p>7 世界焔の博覧会に、町の物産を展示</p> <p>9・5 6 新生活運動九州地区研究大会(鹿児島市)で久保田町生活会議コスモスが優良団体として表彰受く</p> <p>9・29 久保田・牛津・江北三町共同主催の「街道宿場シンポジウム」、福岡博郷土史家の基調講演やパネルディスカッション。</p> <p>10 本州製紙、新王子製紙と合併し、王子製紙佐賀工場となる</p> <p>11 幹線水路改修工事始まる</p>
------	---	---	---

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九六	八	<p>9 記録的な干ばつによる農業被害は一〇三億円三七〇〇万円に上ることが判明</p> <p>11・28 佐賀空港線空港大橋開通式</p> <p>1・6 平成六年より価格破壊おこる</p> <p>1・17 木、竹製「ササラ」国内最古の楽器か?牛津町生立ヶ里遺跡出土</p> <p>1・17 神戸・阪神大震災、犠牲者六、四三二人</p> <p>2・17 焔博シンボルモニュメント、岡本太郎「人工池にブロンズの塔」に決まる</p> <p>3・7 大和紡績跡地の愛称、「どんどんどんの森」と決まる</p> <p>3・16 県立女性センター・生涯学習センター「アバンセ」開館</p> <p>4・〇この年から公立学校、毎月第二、第四土曜日休校となる</p> <p>7・3 県内大雨、浸水二三四戸、崖崩れ一カ所</p> <p>7・26 両陛下「慰霊の旅」、長崎にて平和祈念</p> <p>10・1 国勢調査、県人口八八万四三二六一人</p> <p>1・11 エンデバー打ち上げ成功。若田さん乗船衛星回収へ</p>	<p>11・13 第三回保健福祉大会</p> <p>11・20 街づくりシンポジウム。貞森比呂志佐賀市文化館長講演</p> <p>2・26 第一七回社会教育研究大会</p> <p>3 思斉中補助グラウンド完成</p> <p>4 西佐賀水道、三日月町北部地区に給水開始</p> <p>4 川副綾男新町長誕生</p> <p>7・20 21 児童館キャンブ</p> <p>7 家庭婦人バレーボールチーム、県代表として全国大会(東京)に出場、ベスト8の快挙</p> <p>10・1 久保田町総人口七四五六人、世帯数一九八七</p> <p>10・8 長崎街道くぼた宿場祭り</p>
一九九五	七	<p>1・21 思斉小中校PTA主催「愛校セール」</p> <p>2・25 第一八回社会教育研究大会</p>	<p>10・8 長崎街道くぼた宿場祭り</p>

西暦

年号

国・県内のできごと

町内のできごと

- ホトカ」重油流出事故
- 1・23 七山村で螺髪宝冠阿弥陀像見つかる。阿弥陀像ヒノキ一木像、(国内最古)
- 1・26 佐賀藩水軍に関する古文書早津江で見つかる
- 3・11 茨城県玄海村動燃事故
- 3・30 三池炭坑一・二四年の歴史に幕
- 4・1 消費税、三%から五%にUP
- 4・5 吉野ヶ里遺跡から稲の存在を示すプラントオパールを検出
- 4・12 石井樋(佐賀郡大和町)が日本水道上に現存する近世最古の取水堰と判明
- 4・12 実相院「金銅宝塔」国の重要文化財指定
- 5・2 佐賀空港の管制塔が完成
- 5・11 イラン地震二四〇〇人死亡
- 7・1 香港、中国に返還
- 9・「旧古賀家」が「市歴史民俗館」としてオープン佐賀市柳町
- 10・3 黄河流域から炭化米出土(五、六〇〇年前の日本型)
- 10・5 「佐賀干拓」廃止、事業再開断念

- 等関係者約三〇〇人集う)
- 1・21 町商工会青年部創立三〇周年記念式典
- 2・12 「女性ネットワークの会」発足
- 2・16 第五回保健福祉大会
- 2・23 第一回「生涯学習フェスティバルin久保田」開催
- 4・13 町制施行三〇周年記念「太陽と緑のふれあい祭り」(町民グラウンド、約三〇〇〇人の入出)
- 5・10 児童館主催「ふるさとわが町探検隊」(小学生二四名参加)
- 5・22 社会福祉協議会主催「ふれあい会食」
- 5・24 名譽町民古賀了氏の町及び農協の合同告別式
- 6・27 第二回「くぼた人づくり塾」講演会。講師は泉井本勇知事
- 6・ 思斉中体育館改築工事に着工
- 8・ 特産物直売所を改装
- 10・26 ハローカップ第八回県ママさんバレーボール大会で準優勝
- 11・ 町制施行三〇周年記念ふるさと再発見事業募集
- 11・ 王子製紙、石炭ボイラー・タービン発電設

一九九八

一〇

- 10・23 世界最古(六五〇〇年前)の稲作跡、中国湖南省で見つかる
- 1・5 県は平成十五年度までの障害者施策の重点実施計画「県障害者プラン」を発表
- 2・2 県立病院好生館の緩和ケア病棟「ホスピス」の開所式
- 2・3 九州新幹線長崎ルートについて、日本建設公団は、武雄温泉駅と新大村駅の途中に嬉野温泉駅を設置するとした
- 3・30 県庁前佐賀城北堀に架かる堀越え道路「くすの栄橋」が開通
- 4・8 清和高校が男女共学となり、男子二〇人が入学
- 4・29 佐賀市中心市街地活性化への再開発ビル「エスプラッツ」がオープン
- 5・11 県教委は教員採用に「スポーツ・芸術特別選考」枠を設ける
- 5・12 サッカーくじ法が成立
- 5・30 社民党、与党離脱を決定
- 6・5 金融システム改革法が成立
- 6・9 環境ホルモン学会が発足
- 7・4 日本初の火星探査機プラネットB打ち上げ成功

- 備を新設
- 1・7 第二回新春交流会
- 1・11 上恒安で鬼火焚き復活(王子宮で、幼児から高齢者まで三八名参加)
- 2・ 西佐賀水道、第七回拡張事業始まる(佐賀西部広域水道企業団からの受水に向けた管網整備。計画給水人口四万二五〇〇人、一日最大給水量一八、九一〇m³、事業期間平成十四年度まで)
- 3・17 九州・沖縄ブロックの環境保全型農業推進コンクールでJAKくぼた奨励賞
- 3・28、29 第二回県観桜少年野球大会で、思斉少年野球チーム初優勝
- 5・5 第八回県中学生バレーボール選抜優勝大会で、思斉中女子バレー逆転初優勝
- 5・17 特産物直売所開店五周年記念セールと併せて「太陽と緑のふれあい物産まつり」
- 5・21 英会話で「インターナショナル・クッキング」が五回にわたって開かれた。講師は思斉中ALT(外国語指導助手)のミッシェル・ヒナツ先生
- 5・24 鑑真和上顕彰会主催、嘉瀬川の川開き

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
一九九九	一一	<p>開幕、女子マラソンで高橋尚子が優勝</p> <p>12.15 金融再生委員会発足</p> <p>○この年、金融ビッグバン幕開け</p> <p>1.14 「歌会始め儀」基山中学生入選（記録上最年少）</p> <p>1.19 富本銭和同開跡以前、国内で最古発見</p> <p>2.12 伊豆諸島沖海底鉱床発見</p> <p>2.17 波戸岬少年自然の家完成</p> <p>2.19 佐賀城本丸跡に歴史資料館建設決定</p> <p>3.14 佐賀市長に木下敏之（三九歳）初当選、全国の県都で最年少の市長が誕生</p> <p>3.27 県立森林公園野球場完成、落成式</p> <p>4.11 県知事選、井本勇知事三選</p> <p>5.7 情報公開法が成立</p> <p>5.24 新しい日米防衛協力のための指針成立</p> <p>6.15 男女共同参画社会基本法成立、二十三日施行</p> <p>7.8 県立宇宙科学館（愛称「ゆめぎんが」）が武雄温泉保養村にオープン</p> <p>7.8 省庁改革・地方分権法が成立</p> <p>8.9 国家公務員倫理法成立</p> <p>8.9 国旗・国歌法が成立</p> <p>8.12 通信傍受法が成立</p>	<p>11.15 第七回健康福祉大会</p> <p>12.8 下新ヶ江地区下水道処理施設が竣工し運転開始</p> <p>1.7 第三回新春交流会</p> <p>2.26 あすを担う人づくり事業講演会（講師は、佐賀新聞社常務・吉野徳親氏と窓乃梅酒造社長・古賀醸治氏）</p> <p>2.27、28、3.7 思斉少年野球結成二〇周年記念大会（三一チームの参加を迎えて）</p> <p>3.6 思斉小五・六年生JAおにぎり交流会</p> <p>3.25、29 あすを担う人づくり事業・小学五年生北海道研修（国立日高少年自然の家を起点、小学生二〇名参加）</p> <p>3.27、28 久保田町の地域振興券を交付</p> <p>4.4 思斉中柔道部 第一八回全国少年柔道大会 佐賀県予選で優勝（全国大会に出場）</p> <p>4. 町北部の西田川左岸に約八〇〇mの桜並木が誕生</p> <p>6.12、13 「久保田応援団」（福岡都市圏二六家族六〇名）堀ほしフェスタ干潟・田植体験、ホームステイで交流</p> <p>6.20 文化協会創立一〇周年記念式典</p> <p>6.25 「久保田みどり橋」名称決定</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
		<p>7.12 参院選挙、当選者若永裕美再選</p> <p>7.28 県営の佐賀空港が開港</p> <p>7.30 小淵恵三内閣が成立</p> <p>8.5 介護保険制度導入をにらみ県内一八市町村は広域化推進協議会を発足</p> <p>8.23 全国中学校体育大会剣道男子で三瀬中が初優勝、県勢の男子剣道は三連覇</p> <p>8.31 北朝鮮の「テポドン」、日本列島を飛び超え太平洋に着弾</p> <p>9.1 第一二回国際女性建築家会議、日本で初</p> <p>9.16 台風五号、二十二日台風七号、各地に被害</p> <p>9.30 対人地雷全面禁止条約を批准</p> <p>9. 嬉野町で子育て支援に母子手帳とともに「父子手帳」を配布</p> <p>10.16 唐津市の「旧高取家住宅」が国の重要文化財に指定される</p> <p>11.19 吉野ヶ里遺跡から銅鐸が出土</p> <p>11.25 中国の江沢民国家主席が元首として初めて公式訪日</p> <p>12.6 第一三回アジア競技大会（バンコク）</p>	<p>5.25 小中学校の全校児童生徒に防犯ブザーの贈呈式（思斉小体育館）</p> <p>5.26 思斉中体育館竣工式</p> <p>5.31 嘉瀬川カヌー倶楽部のミーティング（得仏橋下付近）</p> <p>6.3 児童館お茶クラブ、活動開始（月に一回）</p> <p>6. 思斉中体育館に改築記念として町婦人会より絵画「霜月」（横江在任、日本画家岡一義氏作）を寄贈</p> <p>7.1 町制三五周年記念事業として町史編さん事業始まる。役場北別館二階に事務局設置</p> <p>7.28 佐賀空港開港と同時に、久保田町特産物直売所、出店を出す（二階テナントに、郡南部四町ドラゴンパ王国の出店の「コーナー」）</p> <p>8.16 思斉小六年生チーム「思斉ファイターズ」（一五名、全日本ドッチボール選手権大会に出場（東京体育館）</p> <p>8. 西佐賀水道、次亜塩素ナトリウム注入整備竣工</p> <p>10. 農協、カントリーエレベーター三号基建造。大豆荷受ライン改造。大豆選別所改造。汎用コンバイン一台購入</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
		<p>4・1 介護保険制度がスタート</p> <p>4・2 小淵首相、脳梗塞で緊急入院（5・14死去）</p> <p>4・ 県は一〇年間の農業の指針「さが農業農村新世紀プラン」を策定</p> <p>5・3 佐賀駅発福岡・天神行き西鉄高速バス（乗客員二二人）を牛刀を持った少年が乗っ取る（女性一人刺殺される）</p> <p>5・20 吉野ヶ里遺跡見学者二二〇〇万人突破</p> <p>6・25 衆院総選挙で佐賀三選挙区で自民党が独占</p> <p>8・18 伊豆諸島・三宅島の雄山が大規模噴火</p> <p>9・12 横綱審議委員会の初の女性委員に内館牧子氏</p> <p>9・15 シドニー五輪開幕。高橋尚子が女子マラソンで日本初の「金」（9・24）</p> <p>9・〇 九州最大級の複合商業施設「イオンショッピングタウン大和」が佐賀郡大和町にオープン</p> <p>10・6 鳥取県西部地震（境港などで震度六を記録）</p> <p>10・20 ロンドンの大英博物館ジャパンギヤ</p>	<p>5・7・6・16 上恒安遺跡発掘調査</p> <p>8・23・25 第一二回全国農業青年交換大会、佐賀市・久保田町を中心に開催</p> <p>9・3 江戸地区で第一回防災避難訓練</p> <p>9・5 江戸地区下水道処理場建設工事の起工、安全祈願祭</p> <p>9・9 久保田町ポウリング大会、佐賀市のアーガスで開催</p> <p>9・10 南部消防署主催「救急フェア」に町消防団女性部参加（町の与羅ん館駐車場が会場）</p> <p>10・1 町内高校生秋のスポーツ大会（町改善センター体育館）</p> <p>10・1 久保田町総人口八〇〇一人、世帯数二二二九</p> <p>10・2 町食生活改善推進協議会主催『いきいきウオーキング』</p> <p>10・9 町民体育祭（町民グラウンド）</p> <p>10・14・15 平成十二年度総博記念地域活性化事業の『堀ほしフェスタinくぼた』久保田応援団</p> <p>10・29 ドロンパ王国（郡南部四町）の第二回『ふれあいウオーキング大会』（有明佐賀空港を中心に）を開催</p> <p>11・2 「佐賀インターナショナル・バルーンフェスタ」参加外国人選手を招いて『百姓パー</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
二〇〇〇	一一二	<p>10・1 県介護保険審査会発足</p> <p>10・3 アジア・ジュニア選手権男子一〇〇歳で佐賀北高二年生が優勝</p> <p>10・ 陶芸家の青木龍山が文化功労者に選ばれる。県内在住者としては初めて</p> <p>11・15 「県緊急雇用対策政労使会議」初会合</p> <p>12・16 県内の本年産水稲の作況指数は八六の「著しい不良」、全国では三番目に悪い</p> <p>1・8 「子どもの人権一〇番」開設</p> <p>2・6 大阪府に全国初の女性知事（太田房江）</p> <p>2・16 県議会がインターネットのホームページによる情報提供を開始</p> <p>2・21 宮中行事の「歌会始の儀」で二年連続入選した高校一年の少年が基山町から第一号の町民栄誉賞を受賞</p> <p>2・24 アバンセ入館者が二〇〇万人を突破</p> <p>3・31 北海道・有珠山が噴火</p>	<p>8・22 「思斉小マジック」（六年生）全国ドッチボール大会に出場（千葉県幕張メッセ）</p> <p>8・23 広域まちづくり討論会</p> <p>9・25 姦博記念地域活性化事業「堀ほしフェスタinくぼた」ふれあいクリーク公園で開催</p> <p>10・ 農協、情報センターへ全業務移行</p> <p>11・22 町農業後継者クラブ、佐賀インターナショナル・バルーン外国人選手を招待して第六回百姓パーティーを主催</p> <p>12・12 第三回久保田町防火のつどい（思斉小にて幼年消化クラブ、少年防火クラブ、婦人会防火クラブ、町消防団）</p> <p>1・7 第四回新春交流会</p> <p>2・27 文化協会創立一〇周年記念「筑紫美主子劇団公演」</p> <p>3・1 新行政改革推進基本方針の答申出る</p> <p>3・12 町保健センター落成式及び保健福祉大会</p> <p>3・27・31 第二回小学生北海道研修</p> <p>4・2 女性消防団発足</p> <p>4・23 特産物直売所七周年記念セール、「太陽と緑のふれあい物産まつり」</p> <p>4・27 久富地区農村下水道処理施設が完成</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
		<p>用。脱派閥人事</p> <p>5・11 ハンセン病訴訟で、熊本地裁は「旧らい予防法の」強制隔離規定の違法性が明白」と判決。国は、小泉首相の政治決断で控訴を断念</p> <p>6・一 四代酒井田柿右衛門氏(六七) 有田町IIが人間国宝(重要無形文化財保持者)に認定</p> <p>6・29 大佐賀市を目指す佐賀合併促進期成会発足</p> <p>6・29 新しい教科書をつくる会の教科書不採択</p> <p>7・3 井本知事海砂採取料未徴収で三ヵ月間給料五割減給</p> <p>7・9 佐賀県歴史資料館工事着工</p> <p>7・23 有明漁連ノリ網二割削減を決める</p> <p>7・23 神埼高校春夏甲子園出場決める</p> <p>7・30 交付税県内自治体減少</p> <p>8・8 有明海新法、佐賀県など沿岸四県が骨子提言</p> <p>8・13 小泉首相前倒し靖国神社参拜</p> <p>8・28 「有明海クリンアップ作戦」沿岸九七ヶ清掃、ゴミ八〇〇ト</p>	<p>年度佐賀県社会体育優良団体表彰」を受賞</p> <p>2・15 久保田みどり橋開通式、渡り初め</p> <p>2・17 JAくぼた女性部主催『おにぎり交流会』</p> <p>2・25 第五回生涯学習フェスティバルin久保田。記念講演で郷土史家福岡博先生の「久保田が生んだ逸材の人々」</p> <p>2・26 花づくり教室。みどりのカウンセラー野口裕二先生の講話</p> <p>3・3 町青年団主催のひなまつりパーティ。</p> <p>3・4 町老人クラブ連合会主催の『いきいき元気』老人クラブ大会。約四百名参加</p> <p>3・25 第三回小学生北海道自然体験研修。</p> <p>4・15 大立野北部落が町消防団に加入</p> <p>4・25 福富排水機場で起動式</p> <p>4・29 『水とみどりの日』町内一斉清掃</p> <p>5・4 5 東京講道館で第二回全国少年柔道大会、思斉館道場が出場</p> <p>6・1 廃棄物不法投棄防止監視員の任命式</p> <p>6・4 思斉中学校で『IT講習会』始まる</p> <p>6・23 24 第三回『堀ほしフェスタinくぼた』開催</p> <p>7・1 町体育協会主催の講演会。講師は、バルセロナ五輪男子銀メダリストの森下広一氏</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
二〇〇一	一三	<p>ラリーで「大英博物館佐賀県陶芸展」(県、県陶芸協会、佐賀新聞社主催)</p> <p>11・5 上高森遺跡(宮崎県)と総進不動坂遺跡(北海道)で旧石器発掘ねつ造が発覚</p> <p>11・〇 佐賀市で母親(三二)が長男(三三)を殴って死亡させる(児童虐待死事件)</p> <p>11・〇 厳罰化を柱にした改正少年法が成立(刑罰対象年齢を一六歳以上から一四歳以上に引き下げるなど)</p> <p>1・ 長崎県諫早湾干拓事業の潮受け堤防排水門の外海に、漁船三〇〇隻が並び、「宝の海を返せ」と、佐賀など沿岸四県の漁民のシユプレヒコール</p> <p>2・9 (日本時間十日) ハワイ沖で、愛媛県立宇和島水産高校の漁業実習船「えひめ丸」と米原子力潜水艦が衝突。えひめ丸は沈没し高校生四人、指導教官二人、船員三人の計九人が行方不明となる</p> <p>4・21 国営吉野ヶ里歴史公園が開園。(オープンから十二月までに入場者約五六万人)</p> <p>4・26 小泉内閣発足、五人の女性閣僚を起</p>	<p>ティー」(町農業後継者クラブ主催、七回目)</p> <p>11・3 5 町文化祭</p> <p>11・19 第二回県少年柔道大会で思斉館道場Aチーム総合優勝、二連覇</p> <p>11・19 第九回町保健福祉大会(町改善センターを主会場)</p> <p>12・4 久保田町商工会創立四〇周年記念式典(町保健センター)</p> <p>1・5 久保田町新春交流会</p> <p>1・14 於保旗争奪少年錬成大会で思斉館剣道部三位入賞</p> <p>1・20 町青年団主催『初心者スキー・スノーボード教室』(富士町天山スキー場)</p> <p>1・21 『佐賀郡女性ネットワーク・フォーラム』に町からも参加(東与賀町文化ホール、郡内から約五六〇名参加)</p> <p>1・26 久保田人づくり塾「IT講演会」</p> <p>2・10 ドロンパ王国(佐賀郡南部地域開発推進協議会)主催『第五回小学生スキー体験教室』に町からも参加(富士町の天山スキー場)</p> <p>2・13 町体育協会、県教育委員会から「平成十二</p>

	二〇〇二 一四		
		<p>12・5 鳥栖市の勝尾城で「若山砦」遺構確認</p> <p>12・7 佐賀市内マンション計画、市が建設地買収を検討</p> <p>12・11 三五人以下学級の請願五年連続不採択</p> <p>12・22 奄美大島沖の東シナで海巡視船「あまみ」と不審船と銃撃戦、不審船は沈没</p> <p>1・8 佐賀市アルバイトと採用を公募制にする</p> <p>1・10 敦煌美術展（県美術館）入場者五〇〇〇人を突破</p> <p>2・8 第一九回冬季オリンピック・ソルトレークシティー大会開会式。冬季五輪史上最多の七七国・地域が参加</p> <p>2・8 有田町、今右衛門窯の今泉雅登氏（三九）が一四代今泉今右衛門を襲名</p>	<p>11・8 南部消防署主催「消化器を使った消火訓練」（『火の用心ゲートボール大会）王子製紙が優勝</p> <p>11・10 池上彰氏の「二一世紀の子どもたち何を残せるか」の講演</p> <p>11・16 香椎神社境内に「平和之礎」碑が建立（町英霊にこたえる会慰霊祭実施二〇年記念事業）、竣工式</p> <p>12・8 いきいき元気老人クラブ大会</p> <p>12・8 県立森林公園芝生広場周辺で思斉小スポーツクラブ対抗駅伝大会</p> <p>1・1 思斉小スポーツクラブ元旦馬拉ソン</p> <p>2・24 生涯学習フェスティバルin久保田</p> <p>3・25 第四回小学生北海道自然体験（久保田町あすを担う人づくり事業）</p> <p>3・26 郡子どもクラブ・ジュニアリーダー研修会（夜須少年自然の家）</p> <p>3・31 『久保田町史』発行</p>

西暦	年号	国・県内のできごと	町内のできごと
		<p>9・1 東京新宿雑居ビル火災四四人死亡</p> <p>9・10 佐賀市郵便入札今年から試行</p> <p>9・29 千葉県で狂牛病発見さる</p> <p>10・1 「はがね山（富士町）標準電波送信所運用開始</p> <p>10・1 九州労働金庫（七県合併）誕生</p> <p>10・8 政府護衛艦をインド洋に三隻派遣を決める</p> <p>10・9 県人事委員会へ二年連続見送る</p> <p>10・11 日商岩井 県・佐賀市へ大型SC出店届出る</p> <p>11・8 城原川ダム、利水断念</p> <p>11・12 電子県庁構築へ実験スタート</p> <p>11・16 厳木町獅ヶ城跡で江戸初期の大改修跡確認</p> <p>11・24 吉野ヶ里公園「炎の祭典」一万人参加</p> <p>11・29 県被害被害者組合連合会半世紀の活動に幕</p> <p>12・1 皇太子夫妻に長女誕生</p> <p>12・4 狂牛病の影響で県内焼肉店三四%減収</p>	<p>7・8 県立森林公園で、NHK特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会</p> <p>7・20 小学生対象の第四回水辺の楽校カヌー教室。一〇六年生三〇名参加</p> <p>8・19 中村学園女子高校（福岡市）で、福岡、北九州、佐賀三地区対抗小学生一輪車リレー大会。わが思斉小チーム優勝</p> <p>8・25 （嘉瀬川遣唐使船レース前日）嘉瀬川河川敷清掃</p> <p>8・25 第一回ふれあい福祉グラウンドゴルフ大会</p> <p>9・13 町消防団女性部全国女性消防団員活性化大会に参加</p> <p>9・26 市町村合併講演会（町保健センター）</p> <p>10・4 「あしたの日本を創る運動全国大会」で、思斉生活会議の代表、森ヨシ子さんが表彰</p> <p>10・13 「堀ほしフェスタinくぼた」開催</p> <p>10・21 快万の香椎神社秋祭り</p> <p>10・28 町商工会主催ITシンポジウム、NHKアナウンサー松平定知氏の基調講演</p> <p>11・2 町農業後継者クラブ主催第八回百姓パーティー、バルーンリストと賑やかな国際交流</p> <p>11・3 町功労者表彰式</p>